

静岡市障がい者共生のまちづくり計画 (令和3年度から令和5年度まで)

障がい福祉計画・障がい児福祉計画 (法定サービス) の最終報告について

【評価区分】

計画期間中（令和3年度から令和5年度まで）の取組状況に基づき、次の区分により、令和5年度時点の目標達成状況を評価するとともに、計画期間の総合評価を行う。B評価以上が、目標を達成しているものとなる。

- A … 事業目標を上回る成果をあげたもの
- B … 事業目標を達成したもの
- C … 事業目標を下回るもの
- D … 事業目標を大幅に下回るもの
- － … 状況変化等により、事業の実施対象が存在せず、事業を実施できなかったもの

障がい者共生のまちづくり計画・成果指標・登録事業（法定サービス）一覧表

事業番号	事業番号	計画搭載ページ	事業名	R3年度評価	R4年度評価	R5年度評価	総合評価
成果目標1	—	26	福祉施設の入所者の地域生活への移行				D
成果目標2	—	26	精神障がいにも対応した地域包括的支援体制の構築				C
成果目標3	—	26	地域生活支援拠点等の整備				B
成果目標4	—	26	福祉施設から一般就労への移行等				D
成果目標5	—	26	障害児支援の提供体制の整備等				B
成果目標6	—	26	相談支援体制の充実・強化等				B
成果目標7	—	26	障害福祉サービス等の質の向上を図るための取組に係る体制の構築				B
1	1-(1)-1	32	施策分野1 心のバリアフリーイベント	B	B	B	B
2	1-(2)-1	38	アイボランティア入門講座・点字講習会	B	B	B	B
3	1-(2)-2	39	手話奉仕員・要約筆記者養成研修事業	B	B	B	B
4	1-(2)-3	40	初心者向け手話講習会	B	B	B	B
5	1-(4)-1	43	成年後見制度利用支援事業	B	B	B	B
6	1-(4)-2	44	成年後見制度法人後見支援事業	B	B	B	B
7	1-(4)-3	46	手話通訳者設置事業	B	B	B	B
8	1-(4)-4	47	手話通訳者・要約筆記者派遣事業	B	B	B	B
9	1-(4)-5	48	専門性の高い意思疎通支援事業	B	B	B	B
10	1-(5)-1	50	障害者虐待防止対策支援事業	B	B	B	B
11	2	52	施策分野2 地域生活支援拠点等の機能拡充	A	A	A	A
12	2	54	精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築事業	B	A	A	A
13	2	56	障害福祉サービス等に係る各種研修の活用による市職員の人材育成	A	C	B	B
14	2	57	障害福祉サービス事業所等指導監査等実施事業	B	B	B	B
15	2-(1)-1	58	障害者相談支援事業	B	C	C	C
16	2-(1)-2	59	計画相談支援	C	C	C	C
17	2-(1)-3	60	障害児相談支援	B	C	C	C
18	2-(1)-4	62	発達障害者支援地域協議会の運営	B	B	B	B
19	2-(1)-5	63	発達障害者支援センターの運営	B	B	B	B
20	2-(2)-1	67	施設入所支援	B	B	B	B
21	2-(2)-2	68	地域移行支援	C	B	C	C
22	2-(2)-3	69	地域定着支援	B	B	C	B
23	2-(2)-4	70	自立生活援助	C	C	C	C
24	2-(3)-1	72	居宅介護	B	B	B	B
25	2-(3)-2	73	重度訪問介護	B	B	B	B
26	2-(3)-3	74	生活介護	B	B	B	B
27	2-(3)-4	75	自立訓練（機能訓練）	C	B	C	C
28	2-(3)-5	76	自立訓練（生活訓練）	B	B	C	C
29	2-(3)-6	77	短期入所（福祉型）	C	C	C	C
30	2-(3)-7	78	短期入所（医療型）	C	C	C	C
31	2-(3)-8	79	訪問入浴サービス	A	A	A	A

32	2-(3)-9	80	障害支援区分認定等事務	C	A	B	B
33	2-(3)-10	81	視覚障がい者の理解促進に関する普及啓発、相談・支援事業	C	A	A	A
34	2-(4)-1	84	日常生活用具費助成事業	B	B	B	B
35	2-(5)-1	86	発達障害者家族支援体制整備事業	B	A	A	A
36	2-(5)-2	87	重症心身障がい児(者)を支援する人材の確保・養成	B	A	A	A
37	2-(5)-3	88	強度行動障がい者支援施設サポート事業	C	C	A	C
38	3-(1)-1	93	施策分野3 かかりつけ医等発達障害対応力向上研修事業	C	C	C	C
39	3-(1)-2	94	療養介護	B	B	B	B
40	4-(1)-1	100	施策分野4 共同生活援助	B	B	B	B
41	4-(1)-2	101	共同生活援助(日中サービス支援型)	B	B	B	B
42	4-(1)-3	102	福祉ホーム運営補助	B	B	B	B
43	4-(2)-1	104	同行援護	C	C	C	C
44	4-(2)-2	105	行動援護	B	B	B	B
45	4-(2)-3	106	移動支援事業	C	C	C	C
46	4-(2)-4	107	自動車運転免許取得費及び自動車改造費補助事業	B	A	A	A
47	6-(1)-1	118	施策分野5 児童発達支援	C	C	C	C
48	6-(1)-2	119	医療型児童発達支援	B	B	B	B
49	6-(1)-3	120	放課後等デイサービス	A	A	A	A
50	6-(1)-4	121	保育所等訪問支援	A	A	A	A
51	6-(1)-5	122	居宅訪問型児童発達支援	B	A	A	A
52	6-(1)-6	123	福祉型障害児入所支援	B	B	B	B
53	6-(1)-7	124	医療型障害児入所支援	B	B	B	B
54	6-(2)-1	129	医療的ケア児に対する関連分野の支援を調整する コーディネーターの配置	B	B	A	A
55	6-(2)-2	130	医療的ケア児支援協議会	B	B	B	B
56	7-(1)-1	135	施策分野6 就労移行支援	C	C	C	C
57	7-(1)-2	136	就労定着支援	C	C	C	C
58	7-(2)-1	139	就労継続支援A型	C	B	B	B
59	7-(2)-2	140	就労継続支援B型	C	C	C	C
60	7-(2)-3	141	盲人ホーム運営補助	C	C	B	C
61	8-(1)-1	145	施策分野7 スポーツ教室開催事業	A	A	A	A
62	8-(1)-2	146	スポーツ大会開催事業	-	D	D	D
63	8-(1)-3	147	障害者スポーツフェスティバル事業	-	-	C	C
64	8-(1)-4	148	精神障害者スポーツ交流強化事業	-	-	D	D
65	8-(1)-5	149	日中一時支援事業	C	B	A	B
66	8-(2)-1	152	地域活動支援センター	A	B	B	B
67	8-(3)-1	155	点字・声の広報等の発行	B	C	C	C
68		157	障害福祉サービス等の提供基盤の整備について				

障がい者共生のまちづくり計画を効果測定する成果目標

【成果目標1】福祉施設の入所者の地域生活への移行（計画書P26）

(1) 入所施設から地域での生活に移行する人数					
目標値	実績				目標達成率
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	累計	
25人	5人	2人	2人	16人	64.0%

※令和2年度を含む目標値（当該年度の実績は7人）

(2) 入所施設を利用する人の減少数					
目標値	実績				目標達成率
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	累計	
	B-A	C-B	D-C		
10人減	12人	4人	-1人	28人減	280.0%
	令和2年度末入所者数（令和3年3月31日数値）…A				560人
	令和3年度末入所者数（令和4年3月31日数値）…B				548人
	令和4年度末入所者数（令和5年3月31日数値）…C				544人
	令和5年度末入所者数（令和6年3月31日数値）…D				545人

※令和元年度末の入所者数（573人）からの減少数

総合評価	D
------	---

地域生活への移行は進んでいるが、目標値の達成には至らなかったため、グループホームの見学ツアー等を通じ、入所施設の利用者が地域移行を検討しやすい体制づくりに引き続き取り組んでいく。

【成果目標 2】精神障がいにも対応した地域包括的支援体制の構築（計画書P26）

項目		目標値	実績値		
		令和 5 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
(1)	入院後 3 か月以内に退院できる人の割合	69.0%	76.7%	81.0%	80.2%
(2)	入院後 6 か月以内に退院できる人の割合	86.0%	91.7%	85.1%	90.7%
(3)	入院後 1 年以内に退院できる人の割合	92.0%	93.3%	97.2%	91.9%
(4)	精神科病床における 1 年以上長期入院者数	65歳未満：160人 65歳以上：193人	65歳未満：192人 65歳以上：228人	65歳未満：186人 65歳以上：234人	65歳未満：183人 65歳以上：225人
参考指標	退院後 1 年以内の地域における平均生活日数	316日以上	※最終年度のみ測定		332日

総合評価	C
------	---

項目（1）、（2）は目標値を達成している。項目（3）については、増減はあるが、高い水準を維持している。項目（4）については、合計人数は減少しているものの、ほぼ横ばいとなっており、地域移行支援部会における協議等を踏まえ、継続して地域移行支援体制の構築に取り組んでいく。

【成果目標3】地域生活支援拠点等の整備（計画書P26）

項目	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 拠点の整備箇所数	整備済み	整備済み		
(2) 運用状況の検証・検討	年2回	2回	2回	2回

総合評価	B
------	---

次の5つの機能を担う地域生活支援ネットワーク「まいむ・まいむ」を拠点として設置し、コーディネーター2名を配置済である。

- ①相談：3区の関係機関と連携し、計画相談支援事業所がない地域での出張相談会を拡大開催した。
- ②緊急時の受け入れ：短期入所事業所連絡会で情報交換を行った。加えて、空床情報共有ツールの運用を8月に開始した。
- ③体験の機会・場：入所施設連絡会、グループホーム連絡会を立上げ、事業所同士での意見交換を行った。また、両連絡会の連携により、グループホーム見学ツアーを開催した。
- ④専門的人材の確保・養成：移動支援従事者養成研修や強度行動障害支援者フォローアップ研修を開催すること等により、専門的人材の養成を図っている。
- ⑤地域の体制づくり：地域生活支援拠点等事業について検証する場として地域生活支援部会を開催している。

【成果目標4】福祉施設から一般就労への移行等（計画書P26）

項目		目標値	実績値		
		令和5年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1)	就労移行支援事業所等を通じて一般就労する人数	150人	129人	93人	131人
(2)	就労移行支援事業所を通じて一般就労する人数	111人	84人	62人	87人
(3)	就労継続支援A型事業所を通じて一般就労する人数	24人	24人	19人	23人
(4)	就労継続支援B型事業所を通じて一般就労する人数	15人	14人	10人	18人
(5)	就労移行支援事業所等を通じて一般就労に移行する者のうち就労定着支援事業を利用した人の割合	70.0%	34.9%	31.2%	34.4%
(6)	就労定着率が8割以上の就労定着支援事業所の割合	70.0%	※最終年度のみ測定		45.5%

総合評価	D
------	---

就労移行支援事業所等を通じて一般就労する人数は前計画時からほぼ横ばいで推移している。就労継続支援A・B型事業所を通じて一般就労する人数は、ほぼ目標達成しているものの、就労移行支援事業所を通じて一般就労する人数は達成率78%程度に留まることが要因と考えられる。市内就労移行支援事業所定員は13箇所219人であり目標値を充足するだけの定員が市内に存在すること及び、就労移行支援事業所の性質上、利用終了者は一般就労に結びつきやすいことから、今後も継続して就労移行支援事業所の周知を図り利用促進を行っていく。

また、就労定着支援事業利用者の割合は、目標値を大きく下回っていることから、定着支援事業の活用を呼び掛けるとともに、一般就労移行者の離職についても注視する必要がある。

【成果目標 5】 障害児支援の提供体制の整備等（計画書P26）

項目		目標値	実績値		
		令和 5 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
(1) -1	児童発達支援センターの箇所数	3 箇所	2 箇所	2箇所	3箇所
(1) -2	保育所等訪問支援の実施箇所数	3 箇所	11箇所	17箇所	28箇所
(2)	主に重症心身障がい児を受け入れる児童発達支援の実施箇所数	7 箇所	5 箇所	6箇所	6箇所
(3)	主に重症心身障がい児を受け入れる放課後等デイサービスの実施箇所数	6 箇所	9 箇所	9箇所	7箇所
(4) -1	医療的ケアを必要とする障がい児支援のための協議の場の設置	設置	設置済み	設置済み	設置済み
(4) -2	医療的ケア児等に関するコーディネーターを配置	20人	20人	23人	21人

【成果目標 6】 相談支援体制の充実・強化等（計画書P26）

項目	目標値	実績値		
	令和 5 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
相談支援体制の充実・強化等に向けた取組の実施体制を確保	確保	確保済み	確保済み	確保済み

【成果目標 7】 障害福祉サービス等の質を向上を図るための取組に係る体制の構築（計画書P26）

項目	目標値	実績値		
	令和 5 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
サービスの質の向上を図るための取組に係る体制を構築	体制構築	体制構築済み	体制構築済み	体制構築済み

	成果目標 5	成果目標 6	成果目標 7
総合評価	B	B	B

いずれの項目も一定の体制構築ができているため、継続して支援に取り組んでいく。

大分野

①権利擁護・理解促進 ～認め合う・守る～

小分野

(1) 障がいへの理解を深める活動の促進

法定サービス等	I
事業名称	担当課
心のバリアフリーイベント	障害福祉企画課

事業概要	全ての人々がお互いの心や身体の個性を大切にコミュニケーションを取り、支え合う共生社会の実現を目指し、心の「バリア」を取り除くためのイベント等を行います。
------	--

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標	第5期 令和元年度実績		第6期 活動指標		
			令和3年度	令和4年度	令和5年度
心のバリアフリーイベントの実施回数 (市が独自に設定)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	目標値	1回	1回	1回
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	中止	中止	中止
イベント参加者アンケートの共生社会への理解が深まった人の割合 (市が独自に設定)	-	目標値	80%	80%	80%
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	-	-	-
障害者週間における啓発活動の実施箇所数 (市が独自に設定)	3箇所	目標値	3箇所	3箇所	3箇所
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	中止	3箇所	3箇所

【計画記載内容】

- ・「心のバリアフリー」に係る令和2年の「バリアフリー法」改正の趣旨を踏まえ、教育機関との連携を検討します。
- ・「新しい生活様式」を踏まえるだけでなく、これまで来場することが難しかった方も参加することができる心のバリアフリーイベントを企画し、実施します。
- ・障害者週間における啓発活動において、共生社会への理解を進めるため、SDGsアイコンを取り入れます。

【評価理由】 当日の悪天によりイベントの開催は見送ったものの、障害者週間における3区での啓発活動、作文・ポスターの表彰式、パネル展示の実施等により、理解の促進を図ることができたため。	評価	
	令和3年度	B
	令和4年度	B
	令和5年度	B
	総合評価	B

【現状の分析及び課題】

新型コロナウイルス感染症の拡大や悪天により令和元年度から開催を見送っているが、イベントから人が離れて社会参加の場を失うことがないように、継続して周知に取り組んでいく必要がある。

大分野

①権利擁護・理解促進 ～認め合う・守る～

小分野

(2) ボランティア・NPO等による協働の促進

法定サービス等	2
事業名称	担当課
アイボランティア入門講座・点字講習会	障害福祉企画課

事業概要	視覚障がいのある人を助けるボランティアを増やすため、アイボランティア入門講座(視覚障がいへの理解、音訳、ガイドヘルプなど)と、点字講習会(点字の学習)を開催します。
------	--

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標	第5期		第6期 活動指標		
	令和元年度実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度
アイボランティア入門講座開催回数 (市が独自に設定)	1回	目標値	1回	1回	1回
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	1回	1回	1回
点字講習会開催回数 (市が独自に設定)	2会場 各1回	目標値	2会場 各1回	2会場 各1回	2会場 各1回
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	1会場 1回	2会場 各1回	2会場各1回

【計画記載内容】

- ・積極的な広報により、事業の周知を行います。
- ・出席しやすい会場や、日程など実施内容の見直しを行います。
- ・関連する支援団体の活動の周知と、修了生による持続的な視覚障がいのある人への支援の啓発を行います。

【評価理由】 目標どおりの回数を達成したため。	評価	
	令和3年度	B
	令和4年度	B
	令和5年度	B
	総合評価	B

【現状の分析及び課題】

受講者数は、アイボランティア入門講座は定員の95%、点字講習会は63%であるため、受講者数の増加を図るため、引き続き、開催日時や実施内容を見直すとともに、終了後も視覚障がい者を支えるボランティア育成につなげるための啓発を行う。
講座終了後に受講生が実際にボランティアとして活躍できるよう、ボランティア団体とつながるような支援を積極的に行う。

大分県

①権利擁護・理解促進 ～認め合う・守る～

小分県

(2) ボランティア・NPO等による協働の促進

法定サービス等	3
事業名称	担当課
手話奉仕員・要約筆記者養成研修事業	障害福祉企画課

事業概要	聴覚障がいのある人との交流活動やコミュニケーションを促進する手話奉仕員・要約筆記者を養成するための講座を開催します。
------	--

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標	第5期		第6期 活動指標		
	令和元年度実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度
手話奉仕員養成講座 開催回数(市が独自に設定)	2会場	目標値	2会場	2会場	2会場
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	2会場	2会場	2会場
要約筆記者養成講座 開催回数(市が独自に設定)	1会場	目標値	1会場	1会場	1会場
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	1会場	1会場	1会場
手話奉仕員養成講座 受講者数(市が独自に設定)	52人	目標値	60人	60人	60人
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	51人	47人	63人
要約筆記者養成講座 受講者数(市が独自に設定)	4人	目標値	10人	10人	10人
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	1人	19人	22人

【計画記載内容】

- ・ホームページ、広報紙などで奉仕員の活動をPRし、講座への参加を呼びかけていきます。
- ・要約筆記者養成講座の広報掲載時期を早めるとともに、受講生募集期間を延ばします。
- ・県と実施方法や開催場所について協議を行っていきます。

【評価理由】 近年手話への関心が高まっていることや積極的な広報の効果から、手話奉仕員養成講座の受講者について、令和5年度目標人数を達成し、また、要約筆記者養成講座の受講者についても、昨年度から増加傾向かつ目標人数を達成しているため。	評価	
	令和3年度	B
	令和4年度	B
	令和5年度	B
	総合評価	B

【現状の分析及び課題】

(手話奉仕員養成講座)

通年講座で講座回数が多く修了率が低いため、受講者のモチベーションをいかに保つかが課題。

(要約筆記者養成講座)

令和4年度より引き続き静岡県との共同実施事業とすることで、効率性の高い形で開催している。

大分野

①権利擁護・理解促進 ～認め合う・守る～

小分野

(2) ボランティア・NPO等による協働の促進

法定サービス等	4
事業名称	担当課
初心者向け手話講習会	障害福祉企画課

事業概要	市民を対象とした初心者向け手話講習会を開催し、障がいのある人への理解を促進します。
------	---

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標	第5期		第6期 活動指標		
	令和元年度実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度
講座開催回数 (市が独自に設定)	1回	目標値	1回	1回	1回
		コロナ禍目標値	チラシ配架学校数 87校		
		実績値	87校	1回	1回

【計画記載内容】

・過去3年の受講者及び講師のアンケート結果をもとに、開催場所や回数、対象者について関係団体と協議をしながら、受講者数の増加に努めます。

【評価理由】

目標としていた講座の開催を達成したため。
近年手話への関心が高まっていることや、積極的な広報の効果から、募集定員よりも多くの申込があった。

評価

令和3年度	B
令和4年度	B
令和5年度	B
総合評価	B

【現状の分析及び課題】

小学4～6年生を対象とした初歩的な手話教室を生涯学習センターと共催で全4回開催した。受講者数の確保に向けて、対象者へのさらなる周知が必要。
開催地の選定にあたっては、過去に開催実績がない地区における開催についても検討する余地がある。

大分野

①権利擁護・理解促進 ～認め合う・守る～

小分野

(4)意思疎通・意思決定の支援

法定サービス等	5
事業名称	担当課
成年後見制度利用支援事業	福祉総務課 障害福祉企画課 高齢者福祉課 精神保健福祉課

事業概要	知的障がい、精神障がい、認知症等により、お金や財産の管理や日常生活を行うことが難しい人が、支援者がいないことなどが理由で成年後見制度の利用ができない場合に、市長申立てを適切に行い、制度の利用につなげます。また、利用につながった後に、利用者に資産がない場合は、制度を利用するために必要な成年後見人への報酬の助成を行い、継続して利用できるよう支援します。
------	---

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標	第5期		第6期 活動指標		
	令和元年度実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度
市長申立件数(認知) (市が独自に設定)	40件	目標値	45件	48件	令和4年度までの実績等をもとに検討
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	48件	56件	56件
市長申立件数(知的) (市が独自に設定)	2件	目標値	5件	6件	令和4年度までの実績等をもとに検討
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	6件	9件	4件
市長申立件数(精神) (市が独自に設定)	6件	目標値	4件	5件	令和4年度までの実績等をもとに検討
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	5件	2件	7件
報酬助成の実施 (市が独自に設定)	対象者拡大	目標値	実施	実施	実施
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	実施	実施	実施

【計画記載内容】

・今後も、研修等により職員の資質向上に努め、適切に市長申立てや報酬の助成を実施していきます。

【評価理由】 第5期に比して実績値が増えているとともに、各年度の大半において目標値を上回っているため。	評価		
	令和3年度	B	
	令和4年度	B	
	令和5年度	B	
		総合評価	B

【現状の分析及び課題】

市内の高齢者・障がい者の人数の増加傾向を踏まえ、制度の需要に応じた対応ができているかを検証する必要がある。

大分野

①権利擁護・理解促進 ～認め合う・守る～

小分野

(4) 意思疎通・意思決定の支援

法定サービス等	6
事業名称	担当課
成年後見制度法人後見支援事業	福祉総務課 障害福祉企画課 精神保健福祉課

事業概要	法人後見業務を行う者と法人後見支援員としての活動を希望する市民後見人候補者とのマッチング等を行い、人材の確保を通じて法人後見を支援します。
------	---

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標	第5期	第6期 活動指標			
	令和元年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
市民後見人養成研修の実施 (市が独自に設定)	第1期市民後見人養成研修(実務編)の実施	目標値	第2期市民後見人養成研修(実務編)の実施	第3期市民後見人養成研修(基礎編)の実施	第3期市民後見人養成研修(実務編)の実施
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	実施	実施	実施
法人後見支援員となった市民後見人候補者の延べ人数 (市が独自に設定)	0人	目標値	5人	7人	10人
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	6人	9人	14人

【計画記載内容】

- ・第2期市民後見人養成研修を実施します。
- ・法人後見業務を行う者(現時点では市社会福祉協議会を想定)と市民後見人候補者とのマッチングを行います。

【評価理由】 研修を着実に実施するとともに、法人後見支援員となった市民後見人候補者の人数も着実に増やせているため。	評価	
	令和3年度	B
	令和4年度	B
	令和5年度	B
	総合評価	B

【現状の分析及び課題】

まだ実務に携わったことのない市民後見人養成研修修了者が一定数いるため、引き続きマッチングを進める必要がある。

大分野

①権利擁護・理解促進 ～認め合う・守る～

小分野

(4)意思疎通・意思決定の支援

法定サービス等	7
事業名称	担当課
手話通訳者設置事業	障害福祉企画課 各区障害者支援課

事業概要	専任手話通訳者を市庁舎に配置し、市役所に訪れた聴覚、音声言語機能に障がいのある人がスムーズにコミュニケーションができるようにします。
------	--

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標	第5期	第6期 活動指標			
	令和元年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
設置者数 (市が独自に設定)	4人	目標値	4人	4人	4人
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	4人	4人	4人

【計画記載内容】

- ・引き続き各区役所と静岡庁舎(障害福祉企画課)への配置を継続します。
- ・手話通訳者の活動環境の向上や事業実施において関係機関と情報共有を継続し、適切な人員配置について検討していきます。

【評価理由】 専任手話通訳者同士が連携を取り、各区における聴覚障がい者等のコミュニケーション支援に対応できているため。	評価	
	令和3年度	B
	令和4年度	B
	令和5年度	B
	総合評価	B

【現状の分析及び課題】

各区福祉事務所障害者支援課および障害福祉企画課へ専任手話通訳者を配置し、庁内の通訳ニーズや専門的・継続的な通訳現場への対応を引き続き行う必要がある。

大分野

①権利擁護・理解促進 ～認め合う・守る～

小分野

(4) 意思疎通・意思決定の支援

法定サービス等	8
事業名称	担当課
手話通訳者・要約筆記者派遣事業	障害福祉企画課

事業概要	聴覚、音声言語障がいのためにコミュニケーションをとることに支障がある人が、スムーズにコミュニケーションを取ることができるように、手話通訳者や要約筆記者を派遣し、会議や説明会等の内容がわかるようにしたり、通院するときや買い物をするときなど、日常生活を支援したりします。
------	---

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標	第5期		第6期 活動指標		
	令和元年度実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度
申請に対する派遣の割合 (市が独自に設定)	100%	目標値	100%	100%	100%
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	100%	100%	100%

【計画記載内容】

- ・今後も引き続き派遣依頼があったもの全てに派遣をしていきます。
- ・毎年12月に実施している「障害者週間」の広報・啓発活動などの機会を活用し、「障害者差別解消法」における「合理的配慮」の考え方を引き続き周知していきます。
- ・手話通訳者及び要約筆記者の活動環境の向上や事業実施において関係機関と情報共有を継続していきます。

【評価理由】 すべての申請に対し通訳者を派遣し、聴覚障がい者等の情報アクセシビリティの向上を図ったため。	評価	
	令和3年度	B
	令和4年度	B
	令和5年度	B
	総合評価	B

【現状の分析及び課題】

令和5年度は、講演会や研修会が再開されたことにより、手話通訳者の派遣者数が増加した。一方、要約筆記者の派遣者数及び派遣件数は昨年度と比較し減少しているため、要約筆記者の利用に係る周知の必要がある。

令和4年度実績 手話：1,030件(1,110人) 要約筆記：57件(84人)
令和5年度実績 手話：1,026件(1,152人) 要約筆記：37件(74人)

大分野

①権利擁護・理解促進 ～認め合う・守る～

小分野

(4)意思疎通・意思決定の支援

法定サービス等	9
事業名称	担当課
専門性の高い意思疎通支援事業	障害福祉企画課

事業概要	専門性の高い技術を必要とする手話通訳者の養成、盲ろう者向け通訳兼介助者の養成、盲ろう者向け通訳兼介助者の派遣、失語症者向けの意思疎通支援者の養成を実施します。
------	---

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標	第5期		第6期 活動指標		
	令和元年度実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度
手話通訳者養成・研修事業	実施	目標値	実施	実施	実施
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	実施	実施	実施
盲ろう者向け通訳兼介助者養成・研修事業	実施	目標値	実施	実施	実施
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	実施	実施	実施
派遣利用延べ人数 (盲ろう者向け通訳兼介助者派遣事業)	749人	目標値	760人	760人	760人
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	1,691人	2,089人	2,122人
失語症者向け意思疎通支援者養成・研修事業	実施	目標値	実施	実施	実施
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	実施	実施	実施

【計画記載内容】

・今後も、障がいのある人のニーズへの対応が可能となるように、静岡県、浜松市と三者で情報共有しながら実施していきます。

【評価理由】 各事業を目標どおりに実施したため。	評価	
	令和3年度	B
	令和4年度	B
	令和5年度	B
	総合評価	B

【現状の分析及び課題】

上記4事業について、静岡県・浜松市と三者共同で実施している。

令和5年度派遣実績:

盲ろう者向け通訳兼介助者派遣事業1,192件(2,122人) 延べ利用時間:4,228時間

大分野

①権利擁護・理解促進 ～認め合う・守る～

小分野

(5) 虐待の防止

法定サービス等	10
事業名称	担当課
障害者虐待防止対策支援事業	障害福祉企画課 精神保健福祉課

事業概要	障がいのある人への虐待を未然に防いだり、早期に発見したり、迅速に対応し、その後の適切な支援につなぐために、地域の関係機関や、地域住民の方等の支援体制を強化したり、協力する体制を整備します。
------	--

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標	第5期		第6期 活動指標		
	令和元年度実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度
虐待防止センター数 (市が独自に設定)	11箇所	目標値	11箇所	11箇所	11箇所
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	11箇所	11箇所	11箇所
虐待一時保護協定施設数 (市が独自に設定)	5箇所	目標値	5箇所	5箇所	5箇所
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	5箇所	5箇所	5箇所
法制度周知のための研修等 の開催回数 (市が独自に設定)	0回 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 H30は2回開催	目標値	2回	2回	2回
		コロナ禍目標値	虐待防止センターによる勉強会 1回		
		実績値	—	2回	2回

【計画記載内容】

- ・虐待の通報があった際に、迅速な対応がとれるよう、行政、虐待防止センター、虐待一時保護協定施設、その他関係機関等の連携体制を強化していくために、「自立支援協議会 権利擁護・虐待防止部会」にて支援体制について検討を行います。
- ・虐待防止センターの周知のために、年1回「虐待防止センター一覧」を全事業所あてに配布します。

【評価理由】 虐待防止センターを市内11箇所に委託し、虐待一時保護協定施設数も5箇所と継続し、目標値どおり実施できているため。 研修についても、目標どおり開催した。	評価	
	令和3年度	B
	令和4年度	B
	令和5年度	B
	総合評価	B

【現状の分析及び課題】

静岡市自立支援協議会 権利擁護・虐待防止部会を年に2回開催し、障害者の虐待防止対策に関する連携体制について検討や取組を行っている。

大分野

②地域生活支援 ～支え合う～

小分野

法定サービス等	
事業名称	担当課
地域生活支援拠点等の機能拡充	障害福祉企画課

事業概要	障がいのある人が住み慣れた地域で安心して暮らしていくことができるよう、様々な支援を切れ目なく提供するため、5つの機能（「相談」、「緊急時の受入」、「体験の機会」、「専門性」、「地域の体制づくり」）を持つネットワークを構築します。
------	--

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標	第5期	第6期 活動指標			
	令和元年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
設置	設置	目標値	設置	設置	設置
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	設置	設置	設置
運用状況の 検証・検討回数/年	2回	目標値	2回	2回	2回
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	2回	2回	2回
コーディネーター配置 人数 (市が独自に設定)	2人	目標値	2人	2人	2人
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	2人	2人	2人

【計画記載内容】

- ・「専門的」機能として、強度行動障がい児者や医療的ケア児などに対する専門的な支援を行うことのできる人材育成を強化していきます。
- ・短期入所の受入を行う事業所において、緊急受入の好事例の共有や体験利用の促進により、緊急受入に対応できる事業所数を増加させていきます。
- ・各関係機関へ地域生活支援ネットワークとコーディネーターに関する周知、協力依頼を行います。

【評価理由】

- 活動指標を全て達成したことに加えて、以下の取組を行ったため。
- ・強度行動障害支援者フォローアップ研修の開催による、行動障がいのある方への専門的な支援を行える人材の育成。
 - ・短期入所事業所、グループホーム、入所施設の各サービス事業所連絡会の開催による、事業所間の連携機会の創出。
 - ・会議等でのコーディネーターの役割に関する周知。

評価	
令和3年度	A
令和4年度	A
令和5年度	A
総合評価	A

【現状の分析及び課題】

- ・現在、短期入所空床情報共有ツールの活用が十分ではないため、入力方法の簡素化や事業所への呼びかけにより利用率を高めていく必要がある。
- ・個々の事業所職員の意識及びサービスの質の向上により、緊急時に障がい児者を受け入れることができる短期入所事業所等の増加を図ることが必要。
- ・入所施設からの地域移行がなかなか進まないという課題がある。

大分野

②地域生活支援 ～支え合う～

小分野

法定サービス等	12
事業名称	担当課
精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築事業	精神保健福祉課

事業概要	精神障がいのある人が、地域の一員として安心して自分らしい暮らしをすることができるよう、保健、医療及び福祉関係者等による包括的な支援体制の構築を図ります。
------	--

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標	第5期		第6期 活動指標			
	令和元年度実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
保健、医療及び福祉関係者による協議の場の設置	設置済み	目標値	設置済み	設置済み	設置済み	
		コロナ禍目標値	同上			
		実績値	設置済み	設置済み	設置済み	設置済み
保健、医療及び福祉関係者による協議の場の開催回数	2回	目標値	2回	2回	2回	
		コロナ禍目標値	同上			
		実績値	2回	2回	2回	2回
保健、医療及び福祉関係者による協議の場への関係者の参加者数	保健	0人	目標値	0人	0人	0人
		実績値	0人	0人	0人	0人
	医療(精神科)	4人	目標値	4人	4人	4人
		実績値	4人	4人	4人	4人
	医療(精神科以外)	0人	目標値	0人	0人	1人
		実績値	0人	0人	0人	0人
	福祉	5人	目標値	5人	5人	5人
		実績値	5人	5人	5人	7人
	介護	1人	目標値	1人	1人	1人
		実績値	1人	1人	1人	1人
	当事者	1人	目標値	1人	1人	1人
		実績値	1人	1人	1人	1人
	家族	1人	目標値	1人	1人	1人
		実績値	1人	1人	1人	0人
	その他(内容:法律家)	1人	目標値	1人	1人	1人
		実績値	1人	1人	1人	1人
その他(内容:行政機関)	2人	目標値	2人	2人	2人	
	実績値	2回	2回	2回	2人	
保健、医療及び福祉関係者による協議の場における目標設定及び評価の実施回数	2回	目標値	2回	2回	2回	
		コロナ禍目標値	同上			
		実績値	2回	2回	2回	2回

【計画記載内容】

・地域移行支援部会において、地域移行の推進に係る課題や手法など官民協働で協議を行い、医療と福祉、行政が連携した地域移行支援体制の構築に取り組んでいきます。

【評価理由】

部会及びワーキンググループにて、地域移行及び地域定着の推進に係る課題解決のための取組を協議し行い、地域包括ケアシステムの構築に向けた基盤整備に繋がったため。

評価	
令和3年度	B
令和4年度	A
令和5年度	A
総合評価	A

【現状の分析及び課題】

地域移行及び地域定着に係る課題整備に取り組む必要がある。

大分野

②地域生活支援 ～支え合う～

小分野

法定サービス等	13
事業名称	担当課
障害福祉サービス等に係る各種研修の活用による市職員の人材育成	障害者支援推進課 障害福祉企画課 他

事業概要	静岡県が実施する研修に、市職員が参加することで、専門知識を持つ市職員を増やしていきます。
------	--

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標	第5期		第6期 活動指標		
	令和元年度実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度
相談支援従事者初任者研修の市職員参加人数	0人	目標値	1人	1人	1人
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	3人	0人	2人
障害支援区分認定調査員研修の市職員参加人数	8人	目標値	8人	8人	8人
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	8人	13人	16人

【計画記載内容】

- ・障害支援区分認定調査員研修に加え、相談支援従事者初任者研修についても、毎年1人以上の市職員の参加を目指します。
- ・障害支援区分認定調査員研修、相談支援従事者初任者研修以外の研修にも積極的に参加する環境を構築していきます。

【評価理由】 目標値を達成できない年度はあったものの、両研修ともに、平均値としては目標値程度の人数が受講したため。	評価	
	令和3年度	A
	令和4年度	C
	令和5年度	B
	総合評価	B

【現状の分析及び課題】

- ・静岡県が実施する研修を庁内で確実に共有し、対象となる市職員が受講することができている。市職員の異動があるため、継続して研修が受講可能な環境を整え、専門知識を持つ市職員を増やしていく。
- ・障害支援区分認定調査を行う市職員について、確実に研修を受講している。過去に受講したことがある者でも、知識向上のために受講を促していく。

大分野
小分野

②地域生活支援 ～支え合う～

法定サービス等	14
事業名称	担当課
障害福祉サービス事業所等指導監査等実施事業	障害者支援推進課

事業概要	<p>指定障害福祉サービス事業所等の適切な運営の実現を図るため、指導監査を行い、その結果について、静岡県や浜松市と共有するための連絡会を開催します。</p> <p>また、審査支払事務の効率的・効果的な実施に向け、障害者自立支援審査支払等システム等による審査結果の分析内容や審査支払事務における課題等について事業所や関係自治体等と共有します。</p>
------	--

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標	第5期		第6期 活動指標		
	令和元年度実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度
県・2政令市による 情報共有実施回数/年	0回	目標値	1回	1回	1回
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	2回	2回	2回
県・2政令市による障害者自立支援審査支払等システムによる審査結果の共有回数/年	0回	目標値	1回	1回	1回
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	2回	2回	2回

【計画記載内容】

・行政の連絡会では、これまで行ってきた情報交換に加え、それぞれの指導監査結果についても情報共有を行うために、必要な連絡・調整を行っていきます。

・事業所向け集団指導では、審査支払事務における課題を共有し、効率的・効果的な実施に向けて取り組んでいきます。

【評価理由】 計画期間中に予定していた連絡会及び情報共有を実施し、事業目標を達成したため。	評価	
	令和3年度	B
	令和4年度	B
	令和5年度	B
	総合評価	B

【現状の分析及び課題】

静岡県や浜松市との情報共有により、指導監査項目(指定基準及び加算算定)について、なるべく同水準になるように努めている。審査支払等システムについても、事業所や関係地自治体と情報共有を図り、請求上のエラー発生の未然防止に努めている。

大分野

②地域生活支援 ～支え合う～

小分野

(1)相談支援体制の充実

法定サービス等	15
事業名称	担当課
障害者相談支援事業	
障害福祉企画課	

事業概要	障がいのある人が、障がいの種類にかかわらず、持っている能力や適性にあわせて、自立した日常生活や社会生活を送ることができるよう、障がいのある人やその関係者からの相談に応じて必要な情報を提供したり、助言をしたりして支援を行います。また、関係機関との連絡調整や、地域連携システム(ネットワーク)を構築するための会議を開催します。
-------------	---

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標	第5期		第6期 活動指標		
	令和元年度実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度
委託相談支援事業所 設置箇所数	10箇所	目標値	10箇所	10箇所	10箇所
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	10箇所	10箇所	10箇所
基幹相談支援センター 設置箇所数	1箇所	目標値	1箇所	1箇所	1箇所
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	1箇所	1箇所	1箇所
地域の相談支援事業者に対する 訪問等による専門的な 指導・助言件数	159件	目標値	160件	184件	208件
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	152件	126件	196件
地域の相談支援事業者の人材育成 のために行う支援件数	37件	目標値	36件	39件	42件
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	37件	20件	36件
地域の相談支援機関との連携 強化の取組実施回数	57件	目標値	65件	76件	89件
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	63件	67件	43件

【計画記載内容】

- ・現在の相談支援業務内容を精査し、真に必要な部分に重点的に取り組んでもらうための検討を行います。
- ・各委託相談支援事業所の配置や業務内容の見直しについて検討します。
- ・地域包括支援センターと連携し、8050問題に協働で取り組むための体制整備を行います。
- ・基幹相談支援センターにおいて、再犯防止相談支援事業(市の事業27(71頁))等と連携し、犯罪や非行をした人で、障害福祉サービスによる支援が必要な人の地域生活を支援していきます。

【評価理由】 委託相談支援事業所及び基幹相談支援センターの設置箇所数は目標値を維持できているものの、基幹相談支援センターが実施する地域の相談支援体制強化に関する取組件数がいずれも目標値を下回ったため。	評価	
	令和3年度	B
	令和4年度	C
	令和5年度	C
	総合評価	C

【現状の分析及び課題】

基幹相談支援センターが実施する地域の相談支援体制強化に関する取組件数が減少している一方、活動指標には設定していない「総合的・専門的な相談支援」の件数は年々増加している。地域の相談支援体制(三層構造)の役割分担を進め、それぞれの機関で効果的な支援等が実施できるよう整理を進める。

大分野

②地域生活支援 ～支え合う～

小分野

(1)相談支援体制の充実

法定サービス等	16
事業名称	担当課
計画相談支援	障害者支援推進課 障害福祉企画課

事業概要	障害福祉サービスや地域相談支援を利用する全ての障がいのある人を対象に、サービスを利用するときに必要な「サービス等利用計画」を策定したり、サービス等の利用状況を検証したり、計画の見直しや、サービス事業所等との連絡や調整を行います。
------	--

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標 ※算出方法は30頁参照	第5期		第6期 活動指標		
	令和元年度実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	4,265人	目標値	4,525人	4,661人	4,801人
		実績値	4,848人	5,111人	5,715人
相談支援専門員数 (市が独自に設定)	71人	目標値	117人	120人	124人
		実績値	87人	97人	102人

※相談支援専門員数は、専門員一人当たり計画作成件数を39件としています。

【計画記載内容】

- ・障害者自立支援協議会の相談支援部会を中心に、対応策について協議します。
- ・相談支援事業所の新規開設を希望する事業者等の相談に積極的に応じるなど、新規開設に向けた対応を継続していきます。

【評価理由】 利用者は目標値を達成した。 一方、本支援の従事者にあたる相談支援専門員の人数は微増したものの、目標値を下回ったことから、事業としての評価はCとした。	評価	
	令和3年度	C
	令和4年度	C
	令和5年度	C
	総合評価	C

【現状の分析及び課題】

相談支援専門員の数は前年度より5名増加したが、目標値には22名不足している。本支援の質と量の担保には、既存の人材の育成や業務負担軽減、新規事業所の開設支援も重要なため、静岡市自立支援協議会相談支援部会等にて引き続き検討する必要がある。

大分野

②地域生活支援 ～支え合う～

小分野

(1)相談支援体制の充実

法定サービス等	17
事業名称	担当課
障害児相談支援	障害者支援推進課 障害福祉企画課

事業概要	サービスを利用する児童の心と身体の状況や、その他の事情を踏まえて、利用する障害児通所支援の種類や内容等を記載した「障害児支援利用計画」の作成や、サービス事業所等との連絡調整を行います。また、モニタリング期間ごとに「障害児支援利用計画」の評価を行います。
------	--

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標 ※算出方法は30頁参照	第5期	第6期 活動指標			
	令和元年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
利用者数	1,756人	目標値	2,613人	3,188人	3,889人
		実績値	2,657人	3,059人	3,514人
相談支援専門員数 (市が独自に設定)	52人	目標値	67人	82人	100人
		実績値	72人	81人	83人

※相談支援専門員数は、専門員一人当たり計画作成件数を39件としています。

<p>【計画記載内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者自立支援協議会の相談支援部会を中心に、対応策について協議します。 ・相談支援事業所の新規開設を希望する事業者等の相談に積極的に応じるなど、新規開設に向けた対応を継続します。 											
<p>【評価理由】</p> <p>利用者数及び本支援の従事者にあたる相談支援専門員の人数ともに増加しているものの、目標値を下回ったため。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>総合評価</td> <td>C</td> </tr> </tbody> </table>	評価		令和3年度	B	令和4年度	C	令和5年度	C	総合評価	C
評価											
令和3年度	B										
令和4年度	C										
令和5年度	C										
総合評価	C										
<p>【現状の分析及び課題】</p> <p>障害児通所サービスや障害福祉サービスを利用する人数が増え、支給決定者数が増加しており、計画相談の利用者数は大幅に増加傾向にある。それに伴い、相談支援専門員の人材確保が課題となっている。また、本支援の質と量の担保には、既存の人材の育成や業務負担軽減、新規事業所の開設支援も重要なため、静岡市自立支援協議会相談支援部会等にて引き続き検討する必要がある。</p>											

大分野

②地域生活支援 ～支え合う～

小分野

(1)相談支援体制の充実

法定サービス等	18
事業名称	担当課
発達障害者支援地域協議会の運営	障害福祉企画課

事業概要	発達障がいのある障がい児者へのライフステージに応じた一貫した支援体制を整備するため、医療、保健、福祉、教育、労働等の関係者が連携の緊密化を図り、体制の整備について協議を行います。また、発達障害者支援センターの活動状況について検証を行います。
------	--

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標	第5期	第6期 活動指標			
	令和元年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
開催回数	2回	目標値	2回	2回	2回
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	2回	2回	2回

【計画記載内容】

静岡市発達障害者支援センターの活動状況について、「静岡市発達障害者支援地域協議会」で検証します。

特別支援連携協議会と連携し、教育と福祉の連携について検討します。

<p>【評価理由】</p> <p>目標のとおり、年2回協議会を開催し、医療・教育・福祉の連携について協議を実施したため。</p> <p>協議会においては、特別支援教育センター、発達障害者支援センター「きらり」などと協働しながら、教育と福祉の連携や発達早期の支援について検討した。</p>	評価	
	令和3年度	B
	令和4年度	B
	令和5年度	B
	総合評価	B

【現状の分析及び課題】

・静岡市発達障害者支援センター「きらり」の活動状況が検証されることにより、支援体制がブラッシュアップされている。

・発達障がい者支援について、医療・教育・福祉の連携について協議した。引き続き、支援体制を整備するため、各分野との連携について協議を行っていく必要がある。

大分野

②地域生活支援 ～支え合う～

小分野

(1) 相談支援体制の充実

法定サービス等	19
事業名称	担当課
発達障害者支援センターの運営	障害福祉企画課

事業概要	発達障がいのある障がい児者やその家族からの相談に応じて、指導や助言を行った り、関係機関と連携して支援を行ったりする「発達障害者支援センター」を運営しま す。また、発達障がいへの理解促進や関係機関へのコンサルテーション（助言）を行う ことで、地域の支援力の向上や緊密な連携による支援体制の構築を目指します。
------	--

活動指標	第5期		第6期 活動指標		
	令和元年度実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度
相談件数(延べ)	2,932件	目標値	2,764件	2,684件	2,606件
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	2904件	3498件	3927件
関係機関コンサルテーション (助言)件数	173件	目標値	184件	197件	210件
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	264件	261件	275件
市民及び外部機関 向け 講座開催回数 (うち成人期向け講座開催回数【新】)	164回	目標値	205回 (うち20回)	213回 (うち25回)	221回 (うち30回)
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	157回 (うち12回)	184回 (うち12回)	179回 (うち15回)
ペアレントトレーニングやペアレントプ ログラム等の受講者数【新】	321人	目標値	321人	321人	321人
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	288人	255人	279人
ペアレントメンターの人数【新】	79人	目標値	85人	88人	91人
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	86人	90人	108人
ピアサポートの活動への 参加人数【新】	15人	目標値	15人	15人	15人
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	20人	24人	20人

【計画記載内容】

- ・発達障がいのある人に対する総合的な支援を行う拠点として、子どもから成人までライフステージにあわ
せて、関係機関との連携を強化していきます。
- ・成人期の発達障がい者への支援として、居場所づくりのためのピアサポート活動に対しアドバイスや研
修会の実施、市内大学における個別支援の出張相談会の実施、就労系サービスと連携した市内の診療
所や企業を対象とする発達障害者支援センターの相談窓口についての広報を行います。

【評価理由】 6つの活動指標のうち、4つの目標値を達成したため。 相談件数については、関係機関との連携を図り、幼児期から成人期ま での相談支援を実施し、目標を達成することができた。	評価	
	令和3年度	B
	令和4年度	B
	令和5年度	B
	総合評価	B

【現状の分析及び課題】

成人期の相談は、相談につながった時には、問題がより困難化、複雑化している特徴があり、市内大学や
就労系サービス事業所と連携して対応する。支援機関への支援も充実を図る。

大分野

②地域生活支援 ～支え合う～

小分野

(2) 地域移行を推進するための支援

法定サービス等	20
事業名称	担当課
施設入所支援	障害者支援推進課 障害福祉企画課

事業概要	介護が必要な人や、施設への通所が困難な人で、生活介護や自立訓練、就労移行支援のサービスを利用している人に対し、居住の場を提供し、夜間における日常生活上の支援を行います。
------	--

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標 ※算出方法は30頁参照	第5期		第6期 活動指標		
	令和元年度実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	573人	目標値	567人	565人	563人
		実績値	548人	544人	545人
事業所数	8箇所	目標値	8箇所	8箇所	8箇所
		実績値	8箇所	8箇所	8箇所
定員数	501人	目標値	501人	501人	501人
		実績値	501人	501人	501人

<p>【計画記載内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループホームなどの入所施設以外の選択肢の活用を検討するなどして、特に重度の障がいのある人など、本当にサービスが必要な人が待機することなく施設に入所することが出来るような体制を進めていきます。 ・施設入所者の地域移行を進めていくための取組について、「静岡市障害者自立支援協議会」内の「地域移行支援部会」において、検討していきます。 ・多くの重度の障がいのある人の生活の場である入所施設について、新型コロナウイルス感染症や災害時の対策など、必要な支援を行っていきます。
--

<p>【評価理由】</p> <p>令和5年度は静岡市障害者自立支援協議会地域移行支援部会のワーキンググループで、身体・知的分野の取組を本格的に開始した。本当に施設入所が必要な方が待機せずに入所できる体制づくりの第一歩にとりかかったことと目標値を概ね達成したことから、評価をBとした。</p>	評価	
	令和3年度	B
	令和4年度	B
	令和5年度	B
	総合評価	B

<p>【現状の分析及び課題】</p> <p>市内入所施設では、多くの施設でほぼ満床の状態が続いており、入所待機者も多数存在する。グループホーム等を活用して施設入所者の地域移行を進めていくため、引き続き地域移行支援部会で検討を行っていく必要がある。</p>

大分野

②地域生活支援 ～支え合う～

小分野

(2) 地域移行を推進するための支援

法定サービス等	21
事業名称	担当課
地域移行支援	障害者支援推進課 障害福祉企画課 精神保健福祉課

事業概要	障害者支援施設や児童福祉施設の入所者や、精神科病院に入院している人等を対象として、住まいを確保することや、地域での生活に移行するための相談などを行います。
------	---

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標 ※算出方法は30頁参照	第5期	第6期 活動指標		
	令和元年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	1人	目標値	1人	1人
		実績値	0人	1人
うち精神障がい者数	1人	目標値	1人	1人
		実績値	0人	1人
事業所数	8箇所	目標値	8箇所	8箇所
		実績値	8箇所	8箇所

【計画記載内容】

・適正なサービス提供ができるよう、引き続きサービス利用の実態把握に努めていくとともに、「静岡市障害者自立支援協議会」内の「地域移行支援部会」において、必要な取組を検討していきます。
・再犯防止相談支援事業（市の事業27（71頁））等と連携し、犯罪や非行をした人で、障害福祉サービスによる支援が必要な人の地域生活を支援していく体制を構築していきます。

【評価理由】 事業所数は目標値を上回ったが、その他の項目は目標値を下回ったため。	評価	
	令和3年度	C
	令和4年度	B
	令和5年度	C
	総合評価	C

【現状の分析及び課題】

犯罪や非行をした人で、障害福祉サービスによる支援が必要な人が、適切なサービスにつながらないことで、再犯につながる可能性があることが全国的な課題となっている。

大分野

②地域生活支援 ～支え合う～

小分野

(2) 地域移行を推進するための支援

法定サービス等	22
事業名称	担当課
地域定着支援	障害者支援推進課 障害福祉企画課 精神保健福祉課

事業概要	居宅において単身で生活している障がいのある人や、家庭の状況等により同居している家族による支援を受けられない障がいのある人を対象として、常時の連絡体制を確保することで、障がいの特性が原因して生じる緊急の事態等に対する相談や支援を行います。
------	--

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標 ※算出方法は30頁参照	第5期		第6期 活動指標		
	令和元年度実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	6人	目標値	5人	5人	5人
		実績値	5人	5人	4人
うち精神障がい者数	2人	目標値	2人	2人	2人
		実績値	1人	1人	0人
事業所数	9箇所	目標値	8箇所	8箇所	8箇所
		実績値	8箇所	8箇所	8箇所

【計画記載内容】

- ・適正なサービス提供ができるよう、引き続きサービス利用の実態把握に努めるとともに、「静岡市障害者自立支援協議会」内の「地域移行支援部会」において、必要な取組を検討していきます。
- ・再犯防止相談支援事業（市の事業27（71頁））等と連携し、犯罪や非行をした人で、障害福祉サービスによる支援が必要な人の地域生活を支援していく体制を構築していきます。

【評価理由】 令和5年度は事業所数のみ目標値を達成し、その他の目標が未達成だったため。	評価	
	令和3年度	B
	令和4年度	B
	令和5年度	C
	総合評価	B

【現状の分析及び課題】

犯罪や非行をした人で、障害福祉サービスによる支援が必要な人が、適切なサービスにつながらないことで、再犯につながることがあることが全国的な課題となっている。

大分野

②地域生活支援 ～支え合う～

小分野

(2) 地域移行を推進するための支援

法定サービス等	23
事業名称	担当課
自立生活援助	障害者支援推進課

事業概要	入所施設やグループホームから出て、一人暮らしをする障がいのある人等に対し、居宅を訪問して生活状況などの確認と必要な助言や調整を行います。
------	--

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標 ※算出方法は30頁参照	第5期		第6期 活動指標		
	令和元年度実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	—	目標値	1人	2人	3人
		実績値	0人	2人	2人
うち精神障がい者数	—	目標値	—	1人	1人
		実績値	—	1人	1人
事業所数	0箇所	目標値	1箇所	2箇所	3箇所
		実績値	0箇所	1箇所	1箇所

【計画記載内容】

・障がいのある人の一人暮らしを支え、地域での生活を支援するためのサービスとして、3区に1事業所ずつの整備を見込み、新規参入しやすい環境づくりのため、新規開設を希望する事業者の相談に積極的に応じていきます。

【評価理由】 活動指標の目標値を下回っているため。	評価	
	令和3年度	C
	令和4年度	C
	令和5年度	C
	総合評価	C

【現状の分析及び課題】

地域移行の促進に向け、サービスの周知や、実施可能な事業所の確保の必要性について検討を進めていく必要がある。

大分野

②地域生活支援 ～支え合う～

小分野

(3) 日常生活を支援するためのサービスの充実

法定サービス等	24
事業名称	担当課
居宅介護	障害者支援推進課

事業概要	居宅において入浴・排泄等の介護、掃除・洗濯等の家事、その他生活全般にわたる援助を行います。
------	---

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標 ※算出方法は30頁参照	第5期		第6期 活動指標		
	令和元年度実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	863人 身体介護648人 家事援助391人	目標値	873人 身体介護660人 家事援助400人	878人 身体介護664人 家事援助402人	883人 身体介護668人 家事援助405人
		実績値	974人 身体介護525人 家事援助784人	1,048人 身体介護428人 家事援助699人	953人 身体介護387人 家事援助701人
累計利用時間数/月	14,771時間	目標値	19,995時間	21,584時間	23,300時間
		実績値	17,785時間	17,043時間	16,813時間

【計画記載内容】

- ・利用ニーズの拡大に対応できるよう、引き続きサービス利用の実態把握に努め、体制等を整えていきます。
- ・介護職員初任者研修受講就労助成金事業などを周知・活用し、ヘルパーの育成・増加を進めていきます。

【評価理由】

累計利用時間数は目標値を下回ったものの、利用者総数は目標値を上回っているため。
利用者一人あたりの平均利用時間数は、令和元年度と同程度となった。

評価

令和3年度	B
令和4年度	B
令和5年度	B
総合評価	B

【現状の分析及び課題】

サービスの必要量見込みとの乖離があるため、見込み方について、検討の余地がある。

大分県

②地域生活支援 ～支え合う～

小分県

(3) 日常生活を支援するためのサービスの充実

法定サービス等	25
事業名称	担当課
重度訪問介護	障害者支援推進課

事業概要	重度の障がいのある人で、常時の介護を要する人について、居宅にて入浴・排泄等の介護や、掃除・洗濯等の家事、その他生活全般にわたる援助や移動中の介護を総合的に行います。
------	--

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標 ※算出方法は30頁参照	第5期		第6期 活動指標		
	令和元年度実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	53人	目標値	57人	60人	62人
		実績値	68人	64人	65人
累計利用時間数/月	11,805時間	目標値	12,246時間	12,472時間	12,703時間
		実績値	14,380時間	15,643時間	15,616時間

【計画記載内容】

・利用者の増加が見込まれるのに対し、安定的なサービス提供ができるよう、サービス利用の実態把握に努めます。
 ・介護職員初任者研修受講就労助成金事業などを周知・活用し、ヘルパーの育成・増加を進めていきます。

【評価理由】 いずれの活動指標も目標値を上回ったため。	評価	
	令和3年度	B
	令和4年度	B
	令和5年度	B
	総合評価	B

【現状の分析及び課題】

需要が増加傾向にあるため、継続して必要なサービスが提供できる体制を整えていく必要がある。

大分野

②地域生活支援 ～支え合う～

小分野

(3) 日常生活を支援するためのサービスの充実

法定サービス等	26
事業名称	担当課
生活介護	障害者支援推進課 障害福祉企画課

事業概要	常に介護が必要な人に対し、施設において入浴や排せつ、食事の介護や創作的活動や生産活動の機会を提供します。
------	--

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標 ※算出方法は30頁参照	第5期		第6期 活動指標		
	令和元年度実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	1,384人	目標値	1,470人	1,515人	1,561人
		実績値	1,490人	1,624人	1,550人
累計利用日数/月	27,378日	目標値	30,223日	31,148日	32,094日
		実績値	29,462日	30,489日	29,542日
事業所数	51箇所	目標値	62箇所	63箇所	64箇所
		実績値	64箇所	72箇所	75箇所

【計画記載内容】

- ・重度の障がいがある人に対応できる事業所の新規開設を希望する事業者の相談に積極的に応じます。
- ・強度行動障がい者支援施設等サポート事業の活用などにより、施設の受入れ体制を強化していきます。

<p>【評価理由】</p> <p>事業所数は目標値を上回り、利用者数もおおむね達成したため。</p>	評価		
	令和3年度	B	
	令和4年度	B	
	令和5年度	B	
		総合評価	B

【現状の分析及び課題】

累計利用日数のみ、目標値と乖離がある。利用量の見込み方について、検討の余地がある。

大分野

②地域生活支援 ～支え合う～

小分野

(3) 日常生活を支援するためのサービスの充実

法定サービス等	27
事業名称	担当課
自立訓練(機能訓練)	障害者支援推進課 障害福祉企画課

事業概要	自立した日常生活や社会生活ができるよう、一定の期間における身体機能の向上のため、リハビリテーションなどの必要な訓練を行います。
------	---

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標 ※算出方法は30頁参照	第5期	第6期 活動指標			
	令和元年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
利用者数	24人	目標値	33人	40人	49人
		実績値	27人	34人	31人
累計利用日数/月	248日	目標値	325日	394日	483日
		実績値	308日	373日	316日
事業所数	1箇所	目標値	2箇所	2箇所	2箇所
		実績値	1箇所	2箇所	1箇所

【計画記載内容】

・公施設である「静岡市心身障害者ケアセンター」において、指定管理者と連携しながら、利用率やサービス内容の向上に向けた取組を進めています。

【評価理由】

民間事業所数の減少により目標を下回ったため。

評価

令和3年度	C
令和4年度	B
令和5年度	C
総合評価	C

【現状の分析及び課題】

専門的な設備や職員によるサービス提供の必要性が高いことから民間事業者の参入が進んでおらず、静岡市心身障害者ケアセンターにおいて当該サービスの提供を継続する必要がある。また、社会福祉施設等施設整備補助金の活用など民間事業所の整備を促進について検討する必要がある。

大分野

②地域生活支援 ～支え合う～

小分野

(3) 日常生活を支援するためのサービスの充実

法定サービス等	28
事業名称	担当課
自立訓練(生活訓練)	障害者支援推進課 障害福祉企画課

事業概要	自立した日常生活や社会生活ができるよう、一定の期間における生活能力の向上のために、入浴、排せつ、食事等の必要な訓練を行う。
------	---

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標 ※算出方法は30頁参照	第5期	第6期 活動指標			
	令和元年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
利用者数	40人	目標値	37人	37人	37人
		実績値	53人	50人	39人
累計利用日数/月	484日	目標値	482日	482日	482日
		実績値	599日	601日	412日
事業所数	3箇所	目標値	4箇所	4箇所	4箇所
		実績値	4箇所	3箇所	3箇所

【計画記載内容】

・利用者数、利用時間数は減少傾向ではありますが、地域での自立した生活を支援していくサービスのひとつとして、公施設である「静岡市中心身障害者ケアセンター」において、指定管理者と連携しながら、利用率やサービス内容の向上に向けた取組を進めていきます。

【評価理由】 民間事業所数の減少により目標を下回ったため。	評価	
	令和3年度	B
	令和4年度	B
	令和5年度	C
	総合評価	C

【現状の分析及び課題】

専門的な設備や職員によるサービス提供の必要性が高いことから民間事業者の参入が進んでおらず、静岡市中心身障害者ケアセンターにおいて当該サービスの提供を継続する必要がある。また、社会福祉施設等施設整備補助金の活用など民間事業所の整備を促進について検討する必要がある。

大分野

②地域生活支援 ～支え合う～

小分野

(3) 日常生活を支援するためのサービスの充実

法定サービス等	29
事業名称	担当課
短期入所(福祉型)	障害者支援推進課 障害福祉企画課

事業概要	普段は自宅等で生活している人が、介護を行う人の疾病等の理由により短期間の施設への入所を必要とするときに、障害者支援施設等で、必要な介護等の支援を行います。
------	---

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標 ※算出方法は30頁参照	第5期		第6期 活動指標		
	令和元年度実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	183人 (うち児童15人)	目標値	303人 (うち児童24人)	321人 (うち児童26人)	340人 (うち児童27人)
		実績値	180人 (うち児童8人)	236人 (うち児童11人)	278人 (うち児童27人)
累計利用日数/月	938日	目標値	1,439日	1,525日	1,615日
		実績値	955日	1,237日	1,508日
事業所数	23箇所	目標値	35箇所	44箇所	54箇所
		実績値	35箇所	47箇所	56箇所

【計画記載内容】

- ・障がい児の受入れを可能とする事業所が少ないため、障がい児に対応できる体制整備を進めていきます。
- ・短期入所サービス事業所や短期入所の併設が義務付けられている日中サービス支援型グループホームなどに社会福祉施設等整備事業費補助金を交付することで、短期入所の受け皿を増加していきます。
- ・地域生活支援ネットワーク事業(まいむ・まいむ)の機能を強化することで、緊急時でも短期入所が利用しやすい体制を構築していきます。
- ・短期入所利用時に健康診断書の様式を統一するなど、手続の簡素化を検討していきます。

【評価理由】 事業所数は目標値を上回ったが、利用者数および累計利用日数については目標値を下回ったため。	評価	
	令和3年度	C
	令和4年度	C
	令和5年度	C
	総合評価	C

【現状の分析及び課題】

事業所数が増加する一方、人員不足等の理由で更なる利用者受入が難しい事業所も存在する。利用者数、利用日数ともに目標値を下回っていることから、希望者全員がサービスを利用できる仕組みを構築するとともに、今後利用が見込まれる方を含め、サービスの周知や利用促進の必要がある。多様な障がい特性に対応可能であり、緊急時にも円滑な受け入れを行うことができる体制の整備が課題。

大分野

②地域生活支援 ～支え合う～

小分野

(3) 日常生活を支援するためのサービスの充実

法定サービス等	30
事業名称	担当課
短期入所(医療型)	障害者支援推進課 障害福祉企画課

事業概要	普段は自宅等で生活している人が、介護を行う人の疾病等の理由により短期間の施設への入所を必要とするときに、障害者支援施設(医療法に規定する病院)等で、必要な介護等の支援を行います。
------	---

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標 ※算出方法は30頁参照	第5期	第6期 活動指標		
	令和元年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	50人 (うち児童22人)	目標値 72人 (うち児童31人)	73人 (うち児童32人)	74人 (うち児童33人)
		実績値 39人 (うち児童9人)	39人 (うち児童8人)	53人 (うち児童9人)
累計利用日数/月	207日	目標値 295日	299日	303日
		実績値 131日	157日	213日
事業所数	3箇所	目標値 4箇所	4箇所	4箇所
		実績値 4箇所	5箇所	5箇所

【計画記載内容】
<ul style="list-style-type: none"> ・必要な人に支援がいきわたるよう、ニーズの把握に努めていきます。 ・地域生活支援ネットワーク事業(まいむ・まいむ)の機能を強化することや医療的ケア児等コーディネーターを活用することで、緊急時でも短期入所が利用しやすい体制を構築していきます。 ・短期入所利用時に健康診断書の様式を統一するなど、手続の簡素化を検討していきます。

【評価理由】 事業所数は目標値を達成したが、利用者数および累計利用日数は目標値を下回ったため。	評価	
	令和3年度	C
	令和4年度	C
	令和5年度	C
	総合評価	C

【現状の分析及び課題】
利用者数、利用日数、事業所数ともに増加したものの、目標値を下回った。また利用者数のうち、児童が占める割合が、目標値で想定していた割合を下回っている。本サービスを必要とする方が利用しやすい体制を構築するべく、医療的ケア児等コーディネーター及び地域生活支援ネットワークコーディネーターとともに、今後利用が見込まれる方を含めたニーズの把握とサービスの利用促進法の検討が必要。

大分野

②地域生活支援 ～支え合う～

小分野

(3) 日常生活を支援するためのサービスの充実

法定サービス等	31
事業名称	担当課
訪問入浴サービス	障害福祉企画課

事業概要	身体に障がいのある人で、家庭の入浴設備では入浴が困難な人に、入浴支援を行います。
------	--

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標	第5期		第6期 活動指標		
	令和元年度実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度
登録利用者数	62人	目標値	63人	64人	65人
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	75人	83人	84人

【計画記載内容】

・登録利用者へ利用回数の上限についてのアンケートを行い、結果を踏まえて回数の増加を検討していきます。

【評価理由】 目標としていた登録利用者数を大きく上回ったため。	評価	
	令和3年度	A
	令和4年度	A
	令和5年度	A
	総合評価	A

【現状の分析及び課題】

市内12事業所により安定したサービスを提供できており、登録利用者数は年々増加傾向にある。今後も利用者が安定的にサービスを受けることができるよう適正な予算を確保する必要がある。

令和5年度実績：総利用回数：4,834回（上限回数104回／人）

大分野

②地域生活支援 ～支え合う～

小分野

(3) 日常生活を支援するためのサービスの充実

法定サービス等	32
事業名称	担当課
障害支援区分認定等事務	障害者支援推進課 各区障害者支援課

事業概要	障がいのあるさまざまな特性やその他の心や身体の状態に応じてその人に必要な支援の度合いを示す「障害支援区分」の認定に係る審査や判定を行います。また、適切に審査や判定が行われるよう、審査会委員に対する研修を行います。
------	--

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標	第5期		第6期 活動指標		
	令和元年度実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度
対象者数	1,101人	目標値	1,627人	1,200人	1,289人
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	1,569人	1,394人	1,434人
開催回数	41回	目標値	54回	40回	43回
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	52回	41回	44回

【計画記載内容】

- ・今後も継続して調査員を対象とした研修を行い、調査員による適正な調査や資料の作成ができる体制づくりを進めていきます。
- ・審査会委員については、県主催の審査会委員研修への参加を促し、審議内容の均一性を図ります。

【評価理由】 障害支援区分の審査が必要な方が確実に審査を受けることができているため。	評価	
	令和3年度	C
	令和4年度	A
	令和5年度	B
	総合評価	B

【現状の分析及び課題】

- ・審査会委員には研修等への参加を促し、審査方法等の理解の促進や、審査委員の資質の向上をより図る必要がある。
- ・区分認定調査員を務める職員には、県が主催する障害支援区分認定等調査員研修の受講が義務付けられているため、確実に受講をし、調査員の資質の向上を図る必要がある。

大分野

②地域生活支援 ～支え合う～

小分野

(3) 日常生活を支援するためのサービスの充実

法定サービス等	33 新
事業名称	担当課
視覚障がい者の理解促進に関する普及啓発、相談・支援事業	地域リハビリテーション 推進センター 障害福祉企画課

事業概要	視覚障がいへの理解や支援が深まるように、研修会を開催したり、歩行訓練を行ったり、支援ネットワーク促進の働きかけをしたりすることで、適切な支援に繋がります。
------	---

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標	第5期		第6期 活動指標		
	令和元年度実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度
支援者向け研修開催 (市が独自に設定)	1回	目標値	1回	1回	1回
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	0回	1回	1回
歩行訓練事業満足度 (市が独自に設定)	-	目標値	50%	60%	70%
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	84%	85%	86%

【計画記載内容】

・関係機関との連携・ネットワークの推進・構築に取り組みます。
 ・地域における専門機関や支援者の育成の必要性や、関連する障害福祉サービスを含めた視覚障がいのある人への支援の在り方について検討し、支援体制の充実を図っていきます。

【評価理由】

視覚障がいへの理解の促進や地域の支援体制向上のために訓練事業体制の整備や研修会等の開催が実施できた。
 また、関係機関との連携により、視覚障がい者の情報が得られるようになり、必要に応じて歩行訓練事業等の相談へ繋げることができ、実施した歩行訓練事業の満足度も目標値を上回ったため。

評価

令和3年度	C
令和4年度	A
令和5年度	A
総合評価	A

【現状の分析及び課題】

現状、視覚障がい者に対する支援は一部公的機関や個人に限られているため、当所においても引き続き「視覚障がい者歩行訓練」等の直接的支援や、障がいへの理解や支援技術向上のための研修会を継続的に実施する必要がある。

大分野

②地域生活支援 ～支え合う～

小分野

(4) 経済的な支援の充実

法定サービス等	34
事業名称	担当課
日常生活用具助成事業	障害者支援推進課

事業概要	障がいのある人が円滑な日常生活を営めるように、障がいの種類や程度に応じた日常生活を支援する用具の購入費を助成します。
------	--

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標 (支給件数)	第5期	第6期 活動指標			
	令和元年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
介護・訓練支援用具	105件	目標値	108件	108件	108件
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	88件	88件	140件
自立生活支援用具	570件	目標値	686件	686件	686件
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	440件	630件	461件
在宅療養等支援用具	131件	目標値	126件	126件	126件
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	157件	167件	87件
情報・意思疎通支援用具	479件	目標値	435件	435件	435件
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	328件	347件	395件
排泄管理支援用具	32,518件	目標値	27,398件	27,398件	27,398件
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	33,876件	35,255件	32,624件
居宅生活動作補助用具 (住宅改修費)	16件	目標値	17件	17件	17件
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	10件	8件	8件

【計画記載内容】

・対象品目の追加について、当事者や開発メーカーへのヒアリングを実施し、検討していきます。

【評価理由】 障がいの種類と程度に応じた各種の生活用具の費用について、申請に対し適正に給付を行うことができたため。	評価	
	令和3年度	B
	令和4年度	B
	令和5年度	B
	総合評価	B

【現状の分析及び課題】

重度の障がいのある方の在宅生活において、日常生活に必要な用具の給付を行う本事業の必要性は高いと考える。今後も事業を継続して実施するとともに、新たな支援用具の登場について、国及び県のガイドライン、他の給付制度との関係に留意しながら、有効性や安全性などを確認し、検討していく。

大分県

②地域生活支援 ～支え合う～

小分県

(5)人材の確保と資質の向上

法定サービス等	35
事業名称	担当課
発達障害者家族支援体制整備事業	
	障害福祉企画課

事業概要	発達障がい児者への相談や助言を家族等の立場で行う「ペアレントメンター」等の養成や、学校や事業所を訪問して発達障がいのある人を支援する人の資質向上の取組を行うほか、障がい児者やその家族の支援を関係機関と連携して行います。
------	---

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標	第5期	第6期 活動指標		
	令和元年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度
ペアレントメンター・地域サポーター養成研修実施回数(市が独自に設定)	6回	目標値 6回	6回	6回
		コロナ禍目標値 同上		
		実績値 6回	6回	6回
学校・事業所等訪問支援箇所数(市が独自に設定)	33箇所	目標値 40箇所	43箇所	46箇所
		コロナ禍目標値 同上		
		実績値 47箇所	58箇所	58箇所

【計画記載内容】

- ・支援サポートコーチ巡回相談の箇所数を増加し、更なる支援者の対応力向上を進め、発達の気になる子や発達障がい児者への支援体制を強化していきます。
- ・巡回先が偏ることがないように、園長会や校長会等を利用し広く周知を図っていきます。

<p>【評価理由】</p> <p>訪問支援箇所数が活動指標よりも上回っているため。</p>	評価	
	令和3年度	B
	令和4年度	A
	令和5年度	A
	総合評価	A

【現状の分析及び課題】

巡回相談先は、幼児期から成人期の支援機関が対象となっており、年齢層にとらわれない支援体制の強化を行っている。
巡回相談だけでなく、地域支援マネージャーを配置することで、地域の支援体制の強化を進める。

大分野

②地域生活支援 ～支え合う～

小分野

(5)人材の確保と資質の向上

法定サービス等	36
事業名称	担当課
重症心身障がい児(者)を支援する人材の確保・養成	障害福祉企画課

事業概要	看護専門学校や福祉大学の学生、小中学生、一般市民などを対象に、重症心身障がい児(者)とのふれあいや出前講座を行い、障がい児者への理解を深め、障がい児者の目線で支援できる人材を増やします。
------	---

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標	第5期		第6期 活動指標		
	令和元年度実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度
開催回数 (市が独自に設定)	8回	目標値	8回	8回	8回
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	8回	11回	14回

【計画記載内容】 ・委託団体が立ち上げた生活介護事業所での経験やノウハウを生かし、講座内容の更なる充実を図ります。		
【評価理由】 目標値を上回る回数の出前講座を開催したため。	評価	
	令和3年度	B
	令和4年度	A
	令和5年度	A
	総合評価	A
【現状の分析及び課題】 引き続き本講座を周知し、実施する場を開拓していく。		

大分野

②地域生活支援 ～支え合う～

小分野

(5)人材の確保と資質の向上

法定サービス等	37
事業名称	担当課
強度行動障がい者支援施設等サポート事業	障害福祉企画課

事業概要	強度行動障がいのある人を現に受け入れている入所施設や通所施設において、専門家から実践による支援へのアドバイスやサポートを受け、地域における支援技術の向上と入所施設と通所施設が連携した支援体制を構築します。
------	--

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標	第5期		第6期 活動指標		
	令和元年度実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度
通所施設派遣回数 (市が独自に設定)	30回	目標値	24回	24回	24回
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	17回	9回	25回
入所施設派遣回数 (市が独自に設定)	6回	目標値	6回	6回	6回
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	4回	6回	9回

【計画記載内容】 ・入所施設、通所施設におけるさらなる人材育成を進めるため、事例検証会等で事業の内容や成果を市内事業所に周知、共有していきます。

【評価理由】 入所施設派遣は目標値を達成したが、通所施設派遣は目標を下回ったため。 従来の事例検証会を強度行動障害支援者フォローアップ研修と合同で開催し、事業の成果を参加者に周知した。	評価	
	令和3年度	C
	令和4年度	C
	令和5年度	A
	総合評価	C

【現状の分析及び課題】 派遣先の事業所から、通所施設派遣、入所施設派遣ともに「今後の支援に役立てられた」との意見があった。継続的に実施することで、平時から強度行動障がいへの理解を高めるとともに事業所の人材育成を推進していく必要がある。 強度行動障がい支援について、プロジェクトを立ち上げ、当事業のあり方も含めた検討を行う。

大分野

③医療・保健 ～健康を保つ～

小分野

(1) 障がい配慮した地域医療の提供

法定サービス等	38
事業名称	担当課
かかりつけ医等発達障害対応力研修講座	障害福祉企画課

事業概要	発達障がいがある人が日頃から受診する診療所の主治医等に向けて、国の研修内容を踏まえた研修を行うことで、発達障がいがある人が適切な診療を受けるための環境を整備していきます。
------	---

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標	第5期	第6期 活動指標			
	令和元年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
研修実施回数 (市が独自に設定)	3回	目標値	3回	3回	3回
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	2回	2回	2回

【計画記載内容】

・医師会のほか、歯科医師会や薬剤師会等へも周知を行い、さまざまな分野の医師の受講につなげていきます。

【評価理由】 目標値を下回ったことから評価はCとしたが、医師の勤務形態に合わせて、オンライン開催、見逃し配信を実施することにより、多くの受講につなげることができた。	評価	
	令和3年度	C
	令和4年度	C
	令和5年度	C
	総合評価	C

【現状の分析及び課題】

研修の内容に合わせて、医師会等だけではなく、関係のある支援機関へも周知を行い、受講者を多く募っている。

研修開催の回数については、発達障害者支援センターとともに検討する。

大分野

③医療・保健 ～健康を保つ～

小分野

(1) 障がい者に配慮した地域医療の提供

法定サービス等	39
事業名称	担当課
療養介護	障害者支援推進課

事業概要	医療の必要な障がい児者で常に介護が必要な人に対し、医療機関で機能訓練や療養上の管理、看護、介護や世話をを行います。
------	---

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標 ※算出方法は30頁参照	第5期		第6期 活動指標		
	令和元年度実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	107人	目標値	107人	107人	107人
		実績値	112人	115人	111人
事業所数	3箇所	目標値	3箇所	3箇所	3箇所
		実績値	3箇所	3箇所	3箇所
定員数	280人	目標値	280人	280人	280人
		実績値	280人	280人	277人

【計画記載内容】

・今後も、重症心身障がい児施設等に入所している障がいのある児童が、18歳になった際に、療養介護にスムーズに移行するため、同施設による療養介護の提供を引き続き受けられるよう、障害区分認定調査や支給決定等のサービスを利用するための必要な手続を、児童相談所と各福祉事務所が連携し、円滑に進めていきます。

【評価理由】 いずれの活動指標についてもおおむね目標値を達成したため。	評価		
	令和3年度	B	
	令和4年度	B	
	令和5年度	B	
		総合評価	B

【現状の分析及び課題】

引き続き、必要とされる支援体制の確保に取り組んでいく。

大分県

④生活環境 ～暮らす～

小分県

(1)地域における住居の確保

法定サービス等	40
事業名称	担当課
共同生活援助	障害者支援推進課 障害福祉企画課

事業概要	障がいのある人に対し、地域で共同生活をおくることができる住まいの場で、入浴や排せつ、食事の介護、日常生活上の相談や援助などを行います。
------	---

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標 ※算出方法は30頁参照	第5期		第6期 活動指標		
	令和元年度実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	351人	目標値	484人	554人	626人
		実績値	563人	775人	932人
うち精神障がい者数	94人	目標値	151人	180人	211人
		実績値	171人	262人	330人
事業所数	34箇所	目標値	43箇所	45箇所	49箇所
		実績値	56箇所	69箇所	81箇所
定員数	340人	目標値	555人	595人	645人
		実績値	725人	947人	1,146人

※数値は、日中サービス支援型を含みます

【計画記載内容】

・新規事業所の施設整備のため、社会福祉施設等施設整備事業費補助金や既存住宅の活用や、民間賃貸住宅の借り上げなど、社会資源を活用することにより、サービス提供量の確保につなげていきます。

【評価理由】 民間事業者独自の整備が進んでおり、目標値を上回ったため。	評価	
	令和3年度	B
	令和4年度	B
	令和5年度	B
	総合評価	B

【現状の分析及び課題】

今後、新規事業所が開設されることで、利用者も増加していく見込み。事業所数が増加している一方で、重度障がい者を受け入れる事業所が少ないことが課題となっている。
施設入所待機者を含め、現在は在宅で生活している障がいのある人についても、介護者の高齢化に伴いニーズが拡大しているため、今後も必要量を確保していく必要がある。また、入所施設等からの地域移行の受け皿としての役割も期待される。

大分野

④生活環境 ～暮らす～

小分野

(1) 地域における住居の確保

法定サービス等	41
事業名称	担当課
共同生活援助(日中サービス支援型)	障害者支援推進課 障害福祉企画課

事業概要	常に介護が必要な障がいのある人に対し、地域で共同生活をおくることができ る住まいの場で、入浴や排せつ、食事の介護、日常生活上の相談や援助など を行います。
------	---

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標 ※算出方法は30頁参照	第5期		第6期 活動指標		
	令和元年度実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	0人	目標値	80人	120人	160人
		実績値	101人	239人	379人
うち精神障がい者数	0人	目標値	21人	32人	43人
		実績値	27人	79人	134人
事業所数	1箇所	目標値	4箇所	6箇所	8箇所
		実績値	10箇所	21箇所	28箇所
定員数	20人	目標値	80人	120人	160人
		実績値	169人	324人	453人

【計画記載内容】 ・新規事業所の施設整備のため、社会福祉施設等施設整備事業費補助金や既存住宅の活用や、民間賃貸住宅の借り上げなど、社会資源を活用することにより、サービス提供量の確保につなげていきます。

【評価理由】 民間事業者独自の整備が進んでおり、目標値を上回ったため。	評価	
	令和3年度	B
	令和4年度	B
	令和5年度	B
	総合評価	B

【現状の分析及び課題】 今後、新規事業所が開設されることで、利用者も増加していく見込み。事業所数が増加している一方で、重度障がい者を受け入れる事業所が少ないことが課題となっている。 施設入所待機者を含め、現在は在宅で生活している障がいのある人についても、介護者の高齢化に伴いニーズが拡大しているため、今後も必要量を確保していく必要がある。また、入所施設等からの地域移行の受け皿としての役割も期待される。

大分野

④生活環境 ～暮らす～

小分野

(1)地域における住居の確保

法定サービス等	42
事業名称	担当課
福祉ホーム運営補助	障害福祉企画課

事業概要	住居を必要とする障がいのある人に、低額な料金で住まいの場を提供するとともに、日常生活に必要な支援を行うことにより、障がいのある人の自立した地域生活を支援します。
------	--

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標	第5期		第6期 活動指標		
	令和元年度実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度
実施箇所数	3箇所	目標値	3箇所	3箇所	3箇所
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	3箇所	3箇所	3箇所

【計画記載内容】

・障がいのある人の自立した地域生活に対する支援を継続して行う中で、必要な方が福祉ホームを利用できるよう周知を図ります。

【評価理由】 実施箇所数の目標値を達成したため。	評価	
	令和3年度	B
	令和4年度	B
	令和5年度	B
	総合評価	B

【現状の分析及び課題】

福祉ホームの利用者数が減少し3施設中2施設の定員に余裕があることが課題であり、空室を発生させないよう、引き続き事業所に協力を求める必要がある。

大分県

④生活環境 ～暮らす～

小分県

(2) 外出支援の充実

法定サービス等	43
事業名称	担当課
同行援護	障害者支援推進課

事業概要	視覚障がいにより、移動することがとても困難である障がいのある人等に対して、外出時の移動の支援や、排せつや食事の介護など、外出するときに必要な援助及び必要な情報の提供を行います。
------	--

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標 ※算出方法は30頁参照	第5期		第6期 活動指標		
	令和元年度実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	178人	目標値	211人	230人	251人
		実績値	138人	153人	159人
累計利用時間数/月	2,217時間	目標値	2,479時間	2,622時間	2,773時間
		実績値	2,077時間	2,517時間	2,602時間

【計画記載内容】

・利用ニーズの多様化に対応できるよう、引き続きサービス利用の実態の把握に努め、体制等を整えていきます。

【評価理由】 利用者数が目標値を下回ったため。	評価	
	令和3年度	C
	令和4年度	C
	令和5年度	C
	総合評価	C

【現状の分析及び課題】

利用者数、利用時間数ともに増加傾向にあるため、今後も必要量を確保できるように取り組んでいく。

大分野

④生活環境 ～暮らす～

小分野

(2) 外出支援の充実

法定サービス等	44
事業名称	担当課
行動援護	障害者支援推進課

事業概要	知的障がい又は精神障がいにより、行動することがとても難しい障がいのある人等で、常に介護を必要とする人に対して、行動する際に危険を回避するために必要な援護や、外出するときや移動するときの介護や、食事の介護など、行動する際に必要な支援を行います。
------	---

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標 ※算出方法は30頁参照	第5期		第6期 活動指標		
	令和元年度実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	5人	目標値	5人	5人	5人
		実績値	5人	7人	6人
累計利用時間数/月	161時間	目標値	140時間	131時間	122時間
		実績値	171時間	201時間	189時間

【計画記載内容】 ・事業所の新規開設を希望する事業者等の相談に積極的に応じるなど、新規開設に向けた対応を継続していきます。
--

【評価理由】 いずれの活動指標も目標値を上回ったため。	評価		
	令和3年度	B	
	令和4年度	B	
	令和5年度	B	
		総合評価	B

【現状の分析及び課題】 必要とされるサービス量を確保できるよう、引き続き、体制整備に取り組んでいく。

大分野

④生活環境 ～暮らす～

小分野

(2) 外出支援の充実

法定サービス等	45
事業名称	担当課
移動支援事業	障害者支援推進課 障害福祉企画課

事業概要	屋外での移動が困難な身体・知的・精神障がいのある人の外出を支援し、自立生活及び社会参加を促進します。
------	--

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標	第5期	第6期 活動指標			
	令和元年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
利用者数	660人	目標値	660人	673人	686人
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	548人	583人	656人
累計利用時間数/月	6,642時間	目標値	6,642時間	6,908時間	7,184時間
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	5,154時間	5,329時間	5,882時間

【計画記載内容】

- ・ポストコロナ、アフターコロナを見据え、新しい利用方法として、グループ支援を追加し、利用方法の選択肢を増やしていきます。
- ・引き続き、移動支援事業の適正な利用方法について窓口を通して周知していきます。

【評価理由】 目標値を下回ったため。	評価		
	令和3年度	C	
	令和4年度	C	
	令和5年度	C	
		総合評価	C

【現状の分析及び課題】

新型コロナウイルス感染症の影響で減少した利用者及び利用時間数は、令和4年度からゆるやかな回復傾向にある。引き続き、移動支援事業の適正な利用方法について窓口を通して周知していく。

大分野

④生活環境 ～暮らす～

小分野

(2) 外出支援の充実

法定サービス等	46
事業名称	担当課
自動車運転免許取得費及び自動車改造費補助事業	障害者支援推進課

事業概要	身体障がいのある人の自立と社会参加促進を進めるため、運転免許を取得するために必要な費用の一部や運転する自動車の改造に必要な費用の一部を助成します。
------	---

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標	第5期		第6期 活動指標		
	令和元年度実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度
助成件数	7件	目標値	7件	7件	7件
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	8件	9件	9件

【計画記載内容】

・身体障がいのある人の自立と社会参加促進を進めるため、運転免許取得費用の助成については新規免許取得者を対象に、自動車改造費用の助成については中途身体障がい者も含め、効果的な事業の周知を行います。

【評価理由】 助成件数が目標値を上回ったため。	評価	
	令和3年度	B
	令和4年度	A
	令和5年度	A
	総合評価	A

【現状の分析及び課題】

自動車免許の取得や自動車の改造に係る費用の助成は、障がい者の社会参加及び自立した日常生活への支援として、引き続き実施していく。

大分野

⑥子ども ～育てる・学ぶ～

小分野

(1) 障がいの早期発見・早期支援

法定サービス等	47
事業名称	担当課
児童発達支援	障害者支援推進課 障害福祉企画課

事業概要	障がいのある児童に対し、通所施設にて、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練等を行います。
------	--

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標 ※算出方法は30頁参照	第5期 令和元年度実績		第6期 活動指標		
			令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	480人	目標値	817人	1,066人	1,390人
		実績値	738人	953人	1,234人
累計利用日数/月	4,903日	目標値	8,799日	11,481日	14,970日
		実績値	7,545日	9,452日	10,146日
事業所数	34箇所	目標値	42箇所	54箇所	71箇所
		実績値	57箇所	69箇所	75箇所

【計画記載内容】

- ・発達障がい児等の早期療育の観点からも、多くの利用対象者に広く認知されることが望ましいです。今後もサービス基盤の整備に努めていきます。
- ・児童発達支援センターと児童発達支援事業所の役割を明確にしていくとともに、児童発達支援センターによる事業所への助言等を行う支援体制を進めていくことで、スキルの向上を目指します。

【評価理由】 事業所数は増加しているが、利用者数等は目標値を下回ったため。	評価	
	令和3年度	C
	令和4年度	C
	令和5年度	C
	総合評価	C

【現状の分析及び課題】

対象年齢も幅広くなり、個々の特性に合わせた支援ニーズが高まっている。
事業所数の増加に対して利用者数が目標値を下回っているため、利用ニーズとのズレについて検討する必要がある。
児童発達支援センターを中心に連絡会を開催し、互いに情報共有を図る、支援の質の担保を行う等の取り組みを検討する。

大分野

⑥子ども ～育てる・学ぶ～

小分野

(1)障がいの早期発見・早期支援

法定サービス等	48
事業名称	担当課
医療型児童発達支援	障害者支援推進課 障害福祉企画課

事業概要	重度の障がいのある児童に対し、通所施設にて、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練等と、あわせて治療を行います。
------	---

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標 ※算出方法は30頁参照	第5期		第6期 活動指標		
	令和元年度実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	—	目標値	—	—	20人
		実績値	—	—	11人
累計利用日数/月	—	目標値	—	—	220日
		実績値	—	—	73日
事業所数	0箇所	目標値	0箇所	0箇所	1箇所
		実績値	0箇所	0箇所	1箇所

【計画記載内容】

・医療的ケアの必要な重症心身障がい児が安心して利用できる児童発達支援事業所を確保するため、社会福祉施設等整備事業費補助金等の活用により、積極的な整備促進を目指します。

【評価理由】 事業所数は目標値を達成したが、利用者数、累計利用日数/月は目標値を下回った。 令和5年度に1箇所開所しており、今後利用人数は増える見込みである。	評価	
	令和3年度	B
	令和4年度	B
	令和5年度	B
総合評価		B

【現状の分析及び課題】

児童発達支援事業の類型の変更に合わせて、必要量の見込み方等を改めて検討する。
 医療的ケアのある子どもが安心して地域生活を送ることができるよう、検討する。

大分野

⑥子ども ～育てる・学ぶ～

小分野

(1)障がいの早期発見・早期支援

法定サービス等	49
事業名称	担当課
放課後等デイサービス	障害者支援推進課 障害福祉企画課

事業概要	就学している障がいのある児童に対し、授業終了後や休業日に、生活能力向上のための訓練や社会交流促進活動等を行います。
------	---

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標 ※算出方法は30頁参照	第5期		第6期 活動指標		
	令和元年度実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	1,459人	目標値	1,712人	1,854人	2,008人
		実績値	2,030人	2,225人	2,642人
累計利用日数/月	19,504日	目標値	23,848日	25,826日	27,971日
		実績値	28,768日	32,812日	33,376日
事業所数	109箇所	目標値	128箇所	128箇所	139箇所
		実績値	154箇所	166箇所	179箇所

【計画記載内容】

・現在の定員数では、今後、全ての利用希望者の受け入れは困難となる状況であり、潜在的なものも含めたニーズに対応するため、サービス基盤の整備に努め、受入枠を拡大していきます。

【評価理由】 事業所数も増加しており、利用人数も目標値を上回ったため。	評価		
	令和3年度	A	
	令和4年度	A	
	令和5年度	A	
		総合評価	A

【現状の分析及び課題】

利用者数、利用日数ともに増加傾向であり、利用ニーズが高くなっている。
子どもにとってよりよい支援を提供できるよう、学校などの関係機関と事業所が適切に連携していく。

大分野

⑥子ども ～育てる・学ぶ～

小分野

(1)障がいの早期発見・早期支援

法定サービス等	50
事業名称	担当課
保育所等訪問支援	障害者支援推進課 障害福祉企画課

事業概要	障がいのある児童の支援に関する知識や指導経験がある児童指導員や保育士が、保育所などを訪問し、障がいのある児童や保育所などのスタッフに対し、障がいのある児童が集団生活に適応するための専門的な指導を行います。
------	--

活動指標 ※算出方法は30頁参照	第5期		第6期 活動指標		
	令和元年度実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	10人	目標値	12人	13人	14人
		実績値	52人	49人	288人
累計利用日数／月	18日	目標値	39日	42日	45日
		実績値	101日	246日	439日
事業所数	3箇所	目標値	5箇所	5箇所	5箇所
		実績値	12箇所	17箇所	28箇所

【計画記載内容】		
<ul style="list-style-type: none"> ・インクルーシブ教育の推進のためにも活用できるサービスであることから、サービスを提供している児童発達支援センター等と連携し、必要な支援が届く体制を強化していきます。 ・利用者や受入先の保育所等に対して、サービスの周知や理解促進を行います。 		
【評価理由】 事業所数が大幅に増加しており、利用者数も増加したため。	評価	
	令和3年度	A
	令和4年度	A
	令和5年度	A
	総合評価	A
【現状の分析及び課題】		
<p>受入先の保育所等においてサービスの認知が高まっており、利用者数、累計利用日数が目標値を上回り、今後も利用者数の増加が見込まれる。</p> <p>利用者が増えているが、トラブルを防止や支援の質を担保するため、実施前に、利用者、受入先、支援者間で、サービスの理解、双方の役割の確認を行う。</p>		

大分県

⑥子ども ～育てる・学ぶ～

小分県

(1)障がいの早期発見・早期支援

法定サービス等	51
事業名称	担当課
居宅訪問型児童発達支援	障害者支援推進課 障害福祉企画課

事業概要	外出し、施設に通所して支援を受けることが困難な重症心身障がい児に対し、居宅を訪問し、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与等を行います。
------	--

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標 ※算出方法は30頁参照	第5期		第6期 活動指標		
	令和元年度実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	1人	目標値	1人	1人	1人
		実績値	1人	2人	3人
累計利用日数/月	3日	目標値	1日	1日	1日
		実績値	3日	4日	6日
事業所数	1箇所	目標値	1箇所	1箇所	1箇所
		実績値	1箇所	2箇所	3箇所

【計画記載内容】

・潜在的なニーズを把握するため、特別支援学校などにサービスの周知を行います。

【評価理由】 事業所数は目標値を上回り、支援が必要な児童に対して必要な支援を提供できているため。	評価	
	令和3年度	B
	令和4年度	A
	令和5年度	A
	総合評価	A

【現状の分析及び課題】

今後も、本サービスを必要とする障がいのある児童に対し、着実にサービスが提供されるよう体制を構築していく必要がある。

大分野

⑥子ども ～育てる・学ぶ～

小分野

(1)障がいの早期発見・早期支援

法定サービス等	52
事業名称	担当課
福祉型障害児入所支援	児童相談所 障害者支援推進課

事業概要	障がいのある児童に対し、入所施設において、保護、日常生活の指導及び独立生活に必要な知識技能の付与を行います。
------	--

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標 ※算出方法は30頁参照	第5期		第6期 活動指標		
	令和元年度実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	10人	目標値	15人	15人	15人
		実績値	3人	2人	1人
事業所数	1箇所	目標値	1箇所	1箇所	1箇所
		実績値	1箇所	1箇所	1箇所
定員数	27人	目標値	27人	27人	27人
		実績値	20人	20人	20人

【計画記載内容】

- ・正確な保護者ニーズの把握による適切な相談支援を実施します。
- ・関係機関との連携による円滑でかつ切れ目のないケースワークを実施します。

【評価理由】

正確な保護者ニーズの把握による適切な相談支援を実施し、関係機関との連携による円滑でかつ切れ目のないケースワークができているため。

評価

令和3年度	B
令和4年度	B
令和5年度	B
総合評価	B

【現状の分析及び課題】

利用者数は年々減少しているが、入所が必要な児童に対し遅滞なく対応できている。入所に至る経緯は、保護者からの申請による入所（契約入所）と児童福祉法第27条第1項第3号または第2項による入所（措置入所）があり、福祉型障害児入所支援では、保護者からの申請による入所（契約入所）を支援している。退所理由は、集中訓練の終了、就労による自立、家庭引き取り、療養介護への移行等。現在、強度行動障がい児や重度障がい児を受け入れることができる市内の施設が不足しており、市外及び県外の施設に受け入れを依頼することもある。また、一旦は施設に入所できた児童も、長期間となると施設では対応できないとの理由から、退所せざるを得ないケースもある。

大分野

⑥子ども ～育てる・学ぶ～

小分野

(1) 障がいの早期発見・早期支援

法定サービス等	53
事業名称	担当課
医療型障害児入所支援	児童相談所 障害者支援推進課

事業概要	障がいのある児童に対し、入所施設において、保護、日常生活の指導及び独立生活に必要な知識技能の付与及び治療を行います。 ※療養介護と共用の220床分を含みます。
------	--

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標 ※算出方法は30頁参照	第5期		第6期 活動指標		
	令和元年度実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	19人	目標値	23人	23人	23人
		実績値	16人	17人	12人
事業所数	3箇所	目標値	3箇所	3箇所	3箇所
		実績値	3箇所	3箇所	3箇所
定員数	280人	目標値	280人	280人	280人
		実績値	280人	280人	277人

【計画記載内容】

- ・正確な保護者ニーズの把握による適切な相談支援を実施します。
- ・関係機関との連携による円滑でかつ切れ目のないケースワークを実施します。

【評価理由】

正確な保護者ニーズの把握による適切な相談支援を実施し、関係機関との連携による円滑でかつ切れ目のないケースワークができているため。

評価

令和3年度	B
令和4年度	B
令和5年度	B
総合評価	B

【現状の分析及び課題】

利用者数は令和5年度に減少したが、入所が必要な児童に対し遅滞なく対応できている。入所に至る経緯は、保護者からの申請による入所(契約入所)と児童福祉法第27条第1項第3号または第2項による入所(措置入所)があり、医療型障害児入所支援では、保護者からの申請による入所(契約入所)を支援している。退所理由は、集中訓練の終了、就労による自立、家庭引き取り、療養介護への移行等。現在、強度行動障がい児や重度障がい児を受け入れることができる市内の施設が不足しており、市外及び県外の施設に受け入れを依頼することもある。また、一旦は施設に入所できた児童も、長期間となると施設では対応できないとの理由から、退所せざるを得ないケースもある。

大分野

⑥子ども ～育てる・学ぶ～

小分野

(2) 医療的ケアを必要とする障害児等への支援

法定サービス等	54
事業名称	担当課
医療的ケア児に対する関連分野の支援を調整する コーディネーターの配置	障害福祉企画課 障害者支援推進課

事業概要	医療的ケア児等が抱える多分野の課題に対して、保健、医療、福祉、子育て、教育等の必要なサービスを総合的に調整し、医療的ケア児等とその家族に対してサービスの紹介、関係機関と医療的ケア児等をつなぐ役割を持つコーディネーターを配置します。
------	---

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標	第5期	第6期 活動指標		
	令和元年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度
国が定める医療的ケア児等コーディネーター配置人数 (要医療児者支援体制加算対象者)	14人	目標値 18人	19人	20人
		コロナ禍目標値 同上		
		実績値 22人	23人	21人
市が独自に配置する医療的ケア児等コーディネーター配置数 (市が独自に設定)	0人	目標値 2人	2人	2人
		コロナ禍目標値 同上		
		実績値 2人	2人	3人

【計画記載内容】

市全体を管轄し関係機関からの相談にも応じられる医療的ケア児等コーディネーター2人を配置します。

【評価理由】 令和5年度は医療的ケア児等コーディネーターを3人工配置し、個別相談業務とともに、地域の支援者への引継ぎなどを実施した。市が独自に配置するコーディネーターについて、目標値を上回る人数を配置し、地域の支援力向上を図ることができたため、評価をAとした。	評価	
	令和3年度	B
	令和4年度	B
	令和5年度	A
	総合評価	A

【現状の分析及び課題】

医療技術の進歩に伴い、医療的ケアを受けつつ、本人に合った地域生活を送る児童が増加していることから、相談ニーズも増加、多様化している。一人ひとりの必要とするケアや状態に合わせた支援を行うためには、医療的ケア児等とその保護者の相談支援や関係機関との調整役として市全体を管轄する医療的ケア児等コーディネーターを継続して配置する必要がある。

地域の持続可能な支援体制を構築するために、市が配置する医療的ケア児等コーディネーターによる地域の支援者への引継ぎなどを実施し、相談体制整備を図る必要がある。

大分野

⑥子ども ～育てる・学ぶ～

小分野

(2) 医療的ケアを必要とする障害児等への支援

法定サービス等	55
事業名称	担当課
医療的ケア児等支援協議会	障害福祉企画課

事業概要	医療的ケア児等とその家族を地域で支えるため、保健、医療、福祉、教育等の医療的ケア児等支援に関わる行政機関や事業所等の担当者が集まり、地域の課題や対応策について意見交換をしたり、情報共有をしたりします。
------	--

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標	第5期		第6期 活動指標		
	令和元年度実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度
協議会の設置	設置	目標値	設置	設置	設置
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	設置	設置	設置

【計画記載内容】
<ul style="list-style-type: none"> ・実態調査の分析結果を踏まえ、必要な支援の在り方を検討していきます。 ・協議会において、医療的ケア児等コーディネーターの役割、効果的な配置の在り方等について協議を行います。 ・協議会において、医療的ケアを必要とする方や重度心身障がい児者を介護できる従事者を増やすために、事業所向けの研修会の実施を検討します。

【評価理由】 年間4回開催し、保健、医療、福祉、教育、子育て等の関係機関及び当事者団体等での情報共有を行い、医療的ケア児等コーディネーターの活動への助言及び医療的ケア児等及び重症心身障がい児者への支援について協議を実施したため。	評価	
	令和3年度	B
	令和4年度	B
	令和5年度	B
	総合評価	B

【現状の分析及び課題】
<p>災害時の支援体制や、緊急時の短期入所サービスの利用について、引き続き検討する必要がある。</p> <p>市立こども園や市立小中学校の適切な看護師配置について、引き続き検討する必要がある。</p> <p>多様化する医療的ケア児等への支援に向けて、地域の現状把握、分析、連絡調整、支援内容等、地域全体の医療的ケア児等とその家族が直面する課題及び対応策を検討する場が、引き続き必要。</p>

大分野

⑦雇用・就労 ～働く～

小分野

(1) 就労につなげ、支える支援の充実

法定サービス等	56
事業名称	担当課
就労移行支援	障害者支援推進課 障害福祉企画課

事業概要	一般就労を希望する人に対し、一定の期間において、生産活動などの機会を提供し、就労への移行に必要な知識や能力の向上のための訓練を行います。
------	--

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標 ※算出方法は30頁参照	第5期		第6期 活動指標		
	令和元年度実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	190人	目標値	249人	285人	326人
		実績値	171人	177人	187人
累計利用日数／月	3,238日	目標値	4,298日	4,919日	5,627日
		実績値	3,179日	3,027日	3,308日
事業所数	16箇所	目標値	16箇所	18箇所	20箇所
		実績値	15箇所	12箇所	13箇所

【計画記載内容】

- ・成果指標の達成に向け、「静岡市障害者自立支援協議会」内の「就労支援部会」や連絡会などで、市内事業所の情報共有を行うとともに、必要な取組を検討していきます。
- ・特別支援学校等と就労移行支援事業所等の連携を深め、就職後の長期的なビジョンを見据え、必要な支援につなげられるようにしていきます。

【評価理由】 全ての項目において目標値を下回ったため。	評価	
	令和3年度	C
	令和4年度	C
	令和5年度	C
	総合評価	C

【現状の分析及び課題】

令和5年度は、利用者数、利用日数、事業所数のすべてが令和4年度と比較すると増加したが、目標値と比較するとすべての項目が下回っている。
利用者数や利用日数を増やしていくために、就労移行支援事業所についての認知度を向上させる必要がある。

大分野

⑦雇用・就労 ～働く～

小分野

(1) 就労につなげ、支える支援の充実

法定サービス等	57
事業名称	担当課
就労定着支援	障害者支援推進課 障害福祉企画課

事業概要	就労移行支援等の利用を経て一般就労した障がいのある人に対し、企業や関係機関等と連携し、就労先で、就労を長く続けることができるように、定着に向けた支援を行う。
------	--

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標 ※算出方法は30頁参照	第5期		第6期 活動指標		
	令和元年度実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	47人	目標値	173人	377人	770人
		実績値	89人	105人	112人
累計利用日数/月	47日	目標値	173日	377日	770日
		実績値	89日	105日	112日
事業所数	9箇所	目標値	9箇所	10箇所	20箇所
		実績値	8箇所	8箇所	11箇所

【計画記載内容】

・成果指標の達成に向け、「静岡市障害者自立支援協議会」内の「就労支援部会」や、連絡会などで、市内事業所の情報共有を行うとともに、必要な取組を検討していきます。

【評価理由】 全ての項目において目標値を下回ったため。	評価	
	令和3年度	C
	令和4年度	C
	令和5年度	C
	総合評価	C

【現状の分析及び課題】

令和4年度に比べ、令和5年度は利用者数、利用日数、事業所数、全ての項目が増加した。・特別支援学校を卒業後、一旦は就労しても、その後、職場での理解が得られないなどの理由により短期間で離職してしまうケースなどが指摘されているため、離職後に就労移行支援等のサービスにつなげ、さらに就労定着支援につなぐような取組を検討していく。

大分野

⑦雇用・就労 ～働く～

小分野

(2) 障がいの状況や環境の変化に応じた就労の場の確保

法定サービス等	58
事業名称	担当課
就労継続支援A型	障害者支援推進課 障害福祉企画課

事業概要	一般就労が困難な障がいのある人について、雇用契約を結んだ上で、就労の機会の提供や生産活動などの機会の提供や、知識や能力の向上のための訓練を行います。
------	--

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標 ※算出方法は30頁参照	第5期	第6期 活動指標			
	令和元年度実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	458人	目標値	527人	565人	606人
		実績値	513人	573人	625人
累計利用日数/月	9,529日	目標値	11,104日	11,905日	12,768日
		実績値	10,700日	11,858日	12,265日
事業所数	28箇所	目標値	33箇所	34箇所	37箇所
		実績値	31箇所	35箇所	38箇所

【計画記載内容】
・成果指標の達成に向け、障がいのある人が希望する就労の在り方を重視しながら、一般就労移行者を増加していくために、「静岡市障害者自立支援協議会」内の「就労支援部会」や連絡会などで、市内事業所の情報共有を行うとともに、必要な取組を検討していきます。

【評価理由】 利用者数および事業所数は目標を達成したが、利用日数は目標値を下回った。しかし、利用日数については昨年度から増加しているため、事業目標は達成したと考え、評価をBとした。	評価	
	令和3年度	C
	令和4年度	B
	令和5年度	B
	総合評価	B

【現状の分析及び課題】
利用者数、事業所数ともに目標を上回るペースで増加している。 利用日数は目標に達していないが、増加傾向を示しており、今後も利用拡大が見込まれる。

大分野

⑦雇用・就労 ～働く～

小分野

(2) 障がいの状況や環境の変化に応じた就労の場の確保

法定サービス等	59
事業名称	担当課
就労継続支援B型	障害者支援推進課 障害福祉企画課

事業概要	一般就労が困難な障がいのある人について、雇用契約を結ばずに、就労の機会の提供や生産活動などの機会の提供や、知識や能力の向上のための訓練を行います。
------	---

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標 ※算出方法は30頁参照	第5期	第6期 活動指標			
	令和元年度実績	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	1,372人	目標値	1,645人	1,801人	1,972人
		実績値	1,637人	1,874人	2,012人
累計利用日数/月	25,379日	目標値	31,173日	34,129日	37,369日
		実績値	30,841日	35,181日	34,525日
事業所数	85箇所	目標値	92箇所	95箇所	103箇所
		実績値	100箇所	115箇所	123箇所
平均月額工賃 確認周期の関係から、 1年度前の実績を掲載	16,004円	目標値	30,000円	30,000円	30,000円
		実績値	(R2年度) 15,013円	(R3年度) 17,000円	(R4年度) 16,708円

【計画記載内容】

・成果指標の達成に向け、障がいのある人が希望する就労の在り方を重視しながら、一般就労移行者を増加していくために、市内事業所の情報共有を行う連絡会の立ち上げを目指し、その中で必要な取組を検討していきます。
・農・福連携等による事業所と仕事のマッチングを進めることや、工賃向上に向けた事業所への技術的支援等を検討していきます。

【評価理由】

利用者数及び事業所数については、実績値が目標値を上回った。
一方、累計利用日数及び平均月額工賃については、目標値を下回ったことに加え、令和4年度実績に比べて減少したため、評価をCとした。

評価

令和3年度	C
令和4年度	C
令和5年度	C
総合評価	C

【現状の分析及び課題】

令和4年度に比べ累計利用日数が減少しているものの、利用者数、事業所数ともに増加傾向にあり、今後も、多様な利用方法による利用拡大が見込まれる。
令和4年度月額工賃は目標値のみではなく、全国平均、県平均も下回ったため、今後、早急に工賃を向上の対策を検討していく。

大分野

⑦雇用・就労 ～働く～

小分野

(2) 障がいの状況や環境の変化に応じた就労の場の確保

法定サービス等	60
事業名称	担当課
盲人ホーム運営補助	障害福祉企画課

事業概要	あん摩マッサージ指圧免許等を持つ視覚障がいのある人で、就労が困難な方に必要な技術指導を行い、自立を支援するための施設に運営費を補助します。
------	---

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標	第5期		第6期 活動指標		
	令和元年度実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	4人	目標値	5人	5人	5人
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	3人	4人	5人
実施箇所数	1箇所	目標値	1箇所	1箇所	1箇所
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	1箇所	1箇所	1箇所

【計画記載内容】

・視覚障がいのある人の自立した生活に向けた支援となるよう、盲人ホームの在り方や、多面的な就労支援について関係機関と検討を行います。

【評価理由】

利用者数、実施箇所数ともに目標を達成したため。

評価

令和3年度	C
令和4年度	C
令和5年度	B
総合評価	C

【現状の分析及び課題】

今後も、盲人ホーム利用者の安定した確保のため、施設の周知方法について随時検討を行い、積極的に広報活動を行っていく。

大分野

⑧文化活動・市民生活 ～楽しむ・参加する～

小分野

(1)文化・スポーツ等を通じた社会参加の推進

法定サービス等	61
事業名称	担当課
スポーツ教室開催事業	障害福祉企画課

事業概要	日頃スポーツへの参加が難しい障がいのある人のために、スポーツの経験が少ない人でも取り組みやすいスポーツ（フライングディスク、ポッチャ、ボウリングなど）やレクリエーションの体験教室を開催します。障がいのある人の自立と社会への参加を進め、障がいのない人との交流を通じて障がいや障がいのある人への理解を深めます。
------	---

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標	第5期		第6期 活動指標		
	令和元年度実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度
開催回数	4回	目標値	6回	6回	6回
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	8回	10回	15回
参加者数 (市が独自に設定)	225人	目標値	230人	235人	240人
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	221人	374人	467人
利用者アンケートにおける今後もスポーツを続けたい人の割合 (市が独自に設定)	-	目標値	70%	80%	80%
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	98%	92%	94%

【計画記載内容】

- ・参加者アンケートによる満足度やスポーツへの関心を教室の運営に反映していきます。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を意識した運営を行います。

【評価理由】 全ての指標において目標値を大きく上回ったため。	評価	
	令和3年度	A
	令和4年度	A
	令和5年度	A
	総合評価	A

【現状の分析及び課題】

計画どおり実施できたが夏期の参加者数に減少傾向が見られた。これまでの実施内容を分析し、より効果的な開催時期を検討していく。

大分野

⑧文化活動・市民生活 ～楽しむ・参加する～

小分野

(1)文化・スポーツ等を通じた社会参加の推進

法定サービス等	62
事業名称	担当課
スポーツ大会開催事業	障害福祉企画課 葵区障害者支援課 駿河区障害者支援課

事業概要	障がいのある人もない人も地域で生活する市民として社会への参加を進め、スポーツによる体力を保ち、向上を図り、交流を通じてお互いに新たな出会いや発見をし理解を深めるきっかけとするため、年に1回、葵区または駿河区にてフライングディスクや玉入れなどを行うスポーツイベントを開催します。
------	--

活動指標	第5期	第6期 活動指標			
	令和元年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
開催回数	1回	目標値	1回	1回	1回
		コロナ禍目標値	関係団体との打合せ 1回		
		実績値	関係団体との打合せ 1回	1回	1回
参加者数 (市が独自に設定)	131人	目標値	140人	150人	160人
		コロナ禍目標値	—		
		実績値	—	77人	63人

【計画記載内容】
 ・事業の周知方法を工夫し、参加者の増加につとめます。
 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を意識した運営を行います。

【評価理由】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模・時間を縮小して開催したことや、参加者の高齢化が進んでいることから、参加人数が目標値を下回り、また、令和4年度よりも減少したため。	評価	
	令和3年度	—
	令和4年度	D
	令和5年度	D
	総合評価	D

【現状の分析及び課題】
 令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したが、感染リスクの高い方の参加も多いことから、各種感染症等の対策を講じて大会を実施した。今後も、アンケートをとりながら、共催団体と参加者の期待に沿えるような大会を目指す。

大分野

⑧文化活動・市民生活 ～楽しむ・参加する～

小分野

(1)文化・スポーツ等を通じた社会参加の推進

法定サービス等	63
事業名称	担当課
障害者スポーツフェスティバル事業	障害福祉企画課 清水区障害者支援課

事業概要	障がいのある人もない人も地域で生活する市民として社会への参加を進め、スポーツによる体力の維持、向上を図り、交流を通じてお互いに新たな出会いや発見をし理解を深めるきっかけとするため、年に1回、清水区にてパン食い競走や魚釣りゲームなどを行うスポーツイベントを開催します。
------	---

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標	第5期		第6期 活動指標		
	令和元年度実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度
開催回数	1回	目標値	1回	1回	1回
		コロナ禍目標値	実行委員会開催回数 (書面開催含む) 2回		
		実績値	実行委員会開催回数 (書面開催含む) 2回	実行委員会開催回数 (書面開催含む) 2回	1回
参加者数 (市が独自に設定)	1,009人	目標値	1,000人	1,000人	1,000人
		コロナ禍目標値	—		
		実績値	—	—	525人

【計画記載内容】

・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を意識した運営を行います。

<p>【評価理由】</p> <p>過去3年間中止していたが、新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じたうえで再開した。 しかしながら、午前中だけの開催で、参加者が目標の5割となったため、評価をCとした。</p>	評価	
	令和3年度	—
	令和4年度	—
	令和5年度	C
	総合評価	C

【現状の分析及び課題】

引き続き、感染対策を実施したうえで、午前中だけの開催から開催時間を延長し、競技種目を増やすなど、多くの人に安心して参加してもらえるようにしていく必要がある。

大分県

⑧文化活動・市民生活 ～楽しむ・参加する～

小分県

(1)文化・スポーツ等を通じた社会参加の推進

法定サービス等	64
事業名称	担当課
精神障害者スポーツ交流強化事業	精神保健福祉課

事業概要	スポーツを通じて障がいのある人やその家族等の親睦・交流を促進することにより、障がいのある人の社会参加を支援します。
------	---

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標	第5期		第6期 活動指標		
	令和元年度実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度
開催回数	5回	目標値	5回	5回	5回
		コロナ禍目標値	実施に向けた協議継続		
		実績値	実施に向けた協議継続	実施に向けた協議継続	0回
参加者数 (市が独自に設定)	503人	目標値	500人	500人	500人
		コロナ禍目標値	実施に向けた協議継続		
		実績値	実施に向けた協議継続	実施に向けた協議継続	0人

【計画記載内容】

- ・交流人数のさらなる増加を図るため、バレーの練習会等、新たな競技の開催に取り組みます。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を意識した運営を行います。

【評価理由】 コロナ禍もあったことから、受託先の運営状況が厳しくなり、なおかつ精神障害に精通している受託先が多くないため、開催することができなかったため。	評価		
	令和3年度	—	
	令和4年度	—	
	令和5年度	D	
		総合評価	D

【現状の分析及び課題】

受託先の検討も含め、社会参加の支援ができるよう体制整備を行っていく。

大分野

⑧文化活動・市民生活 ～楽しむ・参加する～

小分野

(1)文化・スポーツ等を通じた社会参加の推進

法定サービス等	65
事業名称	担当課
日中一時支援事業	障害者支援推進課

事業概要	創作的活動等の機会の提供をしたり、介護をしている家族の一時的な休息のための日中の一時的な見守りなどの支援に要する費用の一部を助成します。
------	--

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標	第5期	第6期 活動指標			
	令和元年度実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
利用者数	120人	目標値	110人	110人	110人
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	79人	103人	120人
事業所数	29箇所	目標値	29箇所	29箇所	29箇所
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	31箇所	33箇所	35箇所

【計画記載内容】

- ・本体事業終了後から同じ事業所で連続して日中一時支援を使うことができるように、制度を見直し、利用者や事業者が制度を利用しやすくします。
- ・引き続き、日中一時支援事業の適正な利用方法について、窓口を通して周知していきます。

<p>【評価理由】</p> <p>昨年度より利用者数・事業所数ともに増加し、利用者数・事業所数は目標値を上回ったため。</p> <p>計画期間中を通じ、事業所数は目標を達成したが、利用者数は目標を下回ったため、総合評価はBとした。</p>	評価	
	令和3年度	C
	令和4年度	B
	令和5年度	A
	総合評価	B

【現状の分析及び課題】

令和4年度までは新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴うステイホーム等の推奨により、利用控えがあったが、令和5年度からは徐々に需要も戻ってきている。引き続き、日中一時支援事業の適正な利用方法について窓口を通して周知していく。

大分野

⑧文化活動・市民生活 ～楽しむ・参加する～

小分野

(2)生涯を通じた多様な学習機会の提供

法定サービス等	66
事業名称	担当課
地域活動支援センター	障害福祉企画課 精神保健福祉課

事業概要	障がいのある人に日中活動の場を提供し、創作活動や交流活動、生産活動を通じて、社会との交流を促進する等の支援を行います。
------	---

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標	第5期		第6期 活動指標		
	令和元年度実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度
実施箇所数	5箇所	目標値	5箇所	5箇所	5箇所
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	5箇所	5箇所	5箇所
実利用者数	436人	目標値	437人	437人	437人
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	871人	355人	683人

【計画記載内容】

- ・出席率が低い利用者について事業所と連絡を取りつつ見守っていきます。(障害福祉企画課)
- ・新規利用者の増に向け、関係機関との連携強化やプログラムの見直し・改善に努めます。(精神保健福祉課)

【評価理由】 実施箇所数について目標値を達成し、事業所と連絡を取り合い、適正な運営ができたため。	評価	
	令和3年度	A
	令和4年度	B
	令和5年度	B
	総合評価	B

【現状の分析及び課題】

利用者アンケートの意見等を基に、プログラムの見直しが適切に行われている。また、センター同士の連絡会議で、互いの活動内容の報告や困り事等の共有・検討を行っており、取組の改善等に繋げている。地域における社会資源(就労継続支援B型事業所等)の増加により、延べ利用者数が年々減少傾向にある。医療機関及び福祉機関への周知を引き続き行うとともに、地域への事業周知等について効果的な方法を検討し、実践していく。
出席率の低い利用者もおり、出席率を上げるための対応策を検討する必要がある。

大分県 ⑧文化活動・市民生活 ～楽しむ・参加する～
 小分県 (3) 行政サービスにおける利用のしやすさの向上

法定サービス等	67
事業名称	担当課
点字・声の広報等の発行	障害福祉企画課等

事業概要	文字による情報入手が困難な障がいのある人のために、点訳・音訳の方法により、市の各種広報紙を発行し、障がいのある人が地域で生活する上で必要な情報を提供します。
------	--

【第6期障がい福祉計画の状況】

活動指標	第5期		第6期 活動指標		
	令和元年度実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度
発行種類 (市が独自に設定)	8種類	目標値	9種類	10種類	11種類
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	8種類	8種類	8種類
累計発行回数 (市が独自に設定)	47回	目標値	48回	49回	50回
		コロナ禍目標値	同上		
		実績値	49回	47回	47回

【計画記載内容】

- ・議会だよりを音声読み上げ機能がある電子ブックの形態でホームページに掲載することで、より多くの人が議会だよりの音訳を聞くことができる環境を整えます。(調査法制課)
- ・音声版ガイドブックの内容がわかりやすくなるよう紙媒体同様に3種類に分けて発行できないか検討します。また、関係課と協議し窓口に配布依頼をする等、配布数が増えるよう工夫します。(収集業務課)
- ・利用者拡大のための記事を広報しずおかへ掲載します。(広報課)
- ・点字版・音声版広報等の発行種類拡大に向け、庁内各課に必要な性を周知します。(障害福祉企画課)

【評価理由】

- ・昨年度に引き続き、障がい者(児)福祉のしおりの点字版・音声版を発行し、障がいに関する手続きを行ったり、生活に必要な情報を提供したりする窓口等の担当部署へ周知することができた。(障害福祉企画課)
- ・広報しずおかに音声版・点字版広報紙の利用を呼びかける記事を掲載することができた。(広報課)
- ・音声読み上げ機能がある電子ブックの導入を検討したが、議会だよりの構成上文章量が多く、議員個人名や地名などの固有名詞が多いことなどから、わかりやすく正しく読み上げられた情報を市民に届けることができないと判断し、導入は見送ることとした。
- ・被提供者から意見・要望等がないため、概ね必要な情報を提供できていると考えられる(調査法制課)
- ・音訳により障がいがある人にごみの出し方や分別に関する必要な知識を提供することができた。(収集業務課)

評価

令和3年度

B

令和4年度

C

令和5年度

C

総合評価

C

【現状の分析及び課題】

- 令和5年度は次の発行物を発行した。
 - ・令和5年度版障がい者(児)福祉のしおり(点字版・音声版)各1回
 - ・広報しずおか「静岡気分」(点字全訳版・点字縮訳版・音声版)12か月分
 - ・議会だより(点字版・音声版)年4回
- ※令和3年度実績5回は、議員の改選期に伴い、議会だより4月臨時会号を発行したため、通常年よりも点字版・音声版の発行回数が1回多くなっている。
- ・ごみの出し方分別ガイドブック(音声版)

各発行物の課題としては以下のとおりであり、今後課題の対する取り組みを検討する必要がある。

- ・希望者が高齢化により減少しています。(障害福祉企画課)
- ・利用者の減少や高齢化が課題になっている。(広報課)
- ・点字版、音声版について文章量が多く、市民に馴染みのない用語が多く使われている点について、市民目線のわかりやすい表現に改め文章量を少なくする。(調査法制課)
- ・紙媒体のガイドブックと同様に3種類に分けて発行するかどうか検討する必要がある。(収集業務課)

	区分	事業所数					定員数				
		R1支給 決定割合	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	
日中活動系サービス	生活介護	葵区	38%	27	29	32	34	687	694	744	764
		駿河区	30%	15	15	16	16	340	349	369	369
		清水区	32%	19	20	24	25	545	570	621	637
		3区累計	100%	61	64	72	75	1,572	1613	1734	1770
	自立訓練 (機能訓練)	葵区	54%	1	1	2	1	20	20	40	20
		駿河区	38%	0	0	0	0	0	0	0	0
		清水区	8%	0	0	0	0	0	0	0	0
		3区累計	100%	1	1	2	1	20	20	40	20
	自立訓練 (生活訓練)	葵区	40%	1	2	2	2	10	30	30	17
		駿河区	36%	1	1	0	0	6	6	0	6
		清水区	24%	1	1	1	1	6	6	6	0
		3区累計	100%	3	4	3	3	22	42	36	23
就労移行支援	葵区	38%	9	9	8	8	138	138	146	139	
	駿河区	28%	3	4	2	3	46	66	40	60	
	清水区	34%	2	2	2	2	26	26	26	26	
	3区累計	100%	14	15	12	13	210	230	212	225	
就労継続支援 A型	葵区	43%	9	10	11	12	140	150	170	190	
	駿河区	29%	10	11	13	14	175	180	215	245	
	清水区	28%	10	10	11	12	150	160	172	205	
	3区累計	100%	29	31	35	38	465	490	557	640	
就労継続支援 B型	葵区	36%	30	35	44	47	534	614	783	823	
	駿河区	29%	28	30	33	36	600	614	676	736	
	清水区	35%	34	35	38	40	626	632	684	740	
	3区累計	100%	92	100	115	123	1,760	1860	2143	2299	
就労定着支援	葵区	41%	7	6	6	8	280	114		-	
	駿河区	25%	1	1	1	2	40	20		-	
	清水区	34%	1	1	1	1	40	20		-	
	3区累計	100%	9	8	8	11	360	154	0	-	
療養介護	葵区	41%	2	2	2	2	220	220	220	220	
	駿河区	32%	1	1	1	1	60	60	60	57	
	清水区	27%	0	0	0	0	0	0	0	0	
	3区累計	100%	3	3	3	3	280	280	280	277	
短期入所 (福祉型)	葵区	40%	9	13	16	21	39	47	47	56	
	駿河区	27%	7	9	14	14	11	14	21	20	
	清水区	33%	8	11	17	21	26	32	40	53	
	3区累計	100%	24	33	47	56	76	93	108	129	
短期入所 (医療型)	葵区	39%	3	3	3	3	-	-	-	-	
	駿河区	32%	1	1	1	1	-	-	-	-	
	清水区	29%	0	0	1	1	-	-	-	-	
	3区累計	100%	4	4	5	5	-	-	-	-	

	区分	事業所数					定員数				
		R1支給 決定割合	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	
居住系サービス	自立生活援助	葵区	0%	0	0	1	1	-	-	-	-
		駿河区	0%	1	0	0	0	-	-	-	-
		清水区	0%	0	0	0	0	-	-	-	-
		3区累計	0%	1	0	1	1	-	-	-	-
	共同生活援助	葵区	35%	17	21	24	29	260	323	393	462
		駿河区	34%	15	22	27	29	134	222	306	363
		清水区	31%	9	13	18	23	121	180	248	321
		3区累計	100%	41	56	69	81	515	725	947	1146
	うち 日中サービス支援型	葵区	35%	1	4	6	9	20	70	110	158
		駿河区	34%	0	2	7	7	0	40	97	113
		清水区	31%	1	4	8	12	20	59	117	182
		3区累計	100%	2	10	21	28	40	169	324	453
施設入所支援	葵区	41%	4	4	4	4	213	213	213	213	
	駿河区	24%	1	1	1	1	60	60	60	60	
	清水区	35%	3	3	3	3	228	228	228	228	
	3区累計	100%	8	8	8	8	501	501	501	501	

	区別	所数（計画相談については、相談支援専門員）					定員数				
		R1支給 決定割合	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	
計画相談支援 （相談支援専門員数）	葵区	39%	38	50	45	52	-	-	-	-	
	駿河区	29%	19	20	21	21	-	-	-	-	
	清水区	32%	18	17	31	29	-	-	-	-	
	3区累計	100%	75	87	97	102	-	-	-	-	
障害児 相談支援 （相談支援専門員数）	葵区	41%	30	42	37	45	-	-	-	-	
	駿河区	32%	10	17	14	11	-	-	-	-	
	清水区	27%	15	13	30	27	-	-	-	-	
	3区累計	100%	55	72	81	83	-	-	-	-	
地域移行支援	葵区	0%	4	16	9	3	-	-	-	-	
	駿河区	0%	2	5	8	3	-	-	-	-	
	清水区	100%	2	3	5	2	-	-	-	-	
	3区累計	100%	8	24	22	8	-	-	-	-	
地域定着支援	葵区	50%	3	14	7	2	-	-	-	-	
	駿河区	50%	3	6	10	4	-	-	-	-	
	清水区	0%	2	3	5	2	-	-	-	-	
	3区累計	100%	8	23	22	8	-	-	-	-	

	区別	事業所数					定員数				
		R1支給 決定割合	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	
児童発達支援	葵区	43%	25	28	30	34	227	232	325	301	
	駿河区	36%	11	20	27	27	145	160	301	286	
	清水区	21%	6	9	12	14	55	55	120	135	
	3区累計	100%	42	57	69	75	427	447	746	722	
医療型 児童発達支援	葵区	0%	0	0	0	1	0	0	0	20	
	駿河区	0%	0	0	0	0	0	0	0	0	
	清水区	0%	0	0	0	0	0	0	0	0	
	3区累計	100%	0	0	0	1	0	0	0	20	
放課後等 デイサービス	葵区	41%	58	68	71	78	546	626	685	738	
	駿河区	30%	35	47	51	55	340	439	511	534	
	清水区	29%	35	39	44	46	345	375	450	465	
	3区累計	100%	128	154	166	179	1,231	1440	1646	1737	
保育所等 訪問支援	葵区	70%	3	7	8	15	-	-	-	-	
	駿河区	13%	1	3	6	9	-	-	-	-	
	清水区	17%	1	2	3	4	-	-	-	-	
	3区累計	100%	5	12	17	28	-	-	-	-	
居宅訪問型 児童発達支援	葵区	0%	1	1	1	2	-	-	-	-	
	駿河区	0%	0	0	1	1	-	-	-	-	
	清水区	100%	0	0	0	0	-	-	-	-	
	3区累計	100%	1	1	2	3	-	-	-	-	
福祉型障害児 入所支援	葵区	0%	1	1	1	1	20	20	20	20	
	駿河区	100%	0	0	0	0	0	0	0	0	
	清水区	0%	0	0	0	0	0	0	0	0	
	3区累計	100%	1	1	1	1	20	20	20	20	
医療型障害児 入所支援	葵区	60%	2	2	2	2	220	220	220	220	
	駿河区	33%	1	1	1	1	60	60	60	57	
	清水区	7%	0	0	0	0	0	0	0	0	
	3区累計	100%	0	3	3	3	280	280	280	277	